一部画像を加工・修正している箇所があります。

仏の里セーフティーパトロール（大分県）

「安全・安心な仏の里　豊後高田市」

仏の里セーフティーパトロール
会長　岡部 俊憲

皆さんこんにちは。私は仏の里セーフティーパトロール会員の中崎と申します。本日は会長、副会長が所用のため、どうしても出席できませんでしたので、私から発表させていただきます。不慣れなため、お聞き苦しい点が多々あるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

～　活動地域（豊後高田市全域）紹介　～

○ 総面積２０６．２４ｋ㎡、人口約２万２千人

○ 山間部及び海岸部の自然景観や農村集落景観、六郷満山文化ゆかりの史跡等、豊かな自然と歴史的文化などの地域資源が豊富

○ 「富貴寺」「昭和の町」「真玉海岸」「長崎鼻」「田染荘」「豊後高田そば」

まずはじめに、私たちが活動する大分県豊後高田市の紹介をしたいと思います。

豊後高田市は大分県の北東部に位置し、総面積 206.24 平方キロメートル、人口約 2 万 2 千人で、山間部および海岸部の自然景観や農村集落景観、富貴寺（ふきじ）に代表される六郷満山（ろくごうまんざん）文化ゆかりの史跡等、豊かな自然と歴史的文化が豊富な町です。

富貴寺

昭和の町

市の中心商店街は「昭和の町」として全国的に脚光を浴び、年間約 40 万人もの来訪者を迎えています。この「昭和の町」は来年で 25 周年を迎え、さらに今年はさまざまなイベントが開催され、ますます活気に満ちています。

長崎鼻

真玉海岸

田染荘

豊後高田そば

他にも、県内で唯一、水平線に沈みゆく夕日を見ることができ、「日本の夕日百選」にも選ばれた真玉海岸（またまかいがん）や、春には菜の花、夏にはひまわりが咲き誇り、レストランやコテージ・ログハウスなどの施設を備えた長崎鼻（ながさきばな）リゾートキャンプ場、中世の田園風景を色濃く残す田染荘（たしぶのしょう）などの観光スポットもたくさんあります。

また、食では西日本有数の生産量を誇る豊後高田そばがあり、豊後高田のそばは春と秋の年２回栽培するという大きな特徴があるため、年に２回美味しい新そばを味わうことができます。皆さん、ぜひ一度、豊後高田市へお越しください。

～ 団体の概要 ～

○ 平成１５年８月１０日発足

○ 会員数６０名。

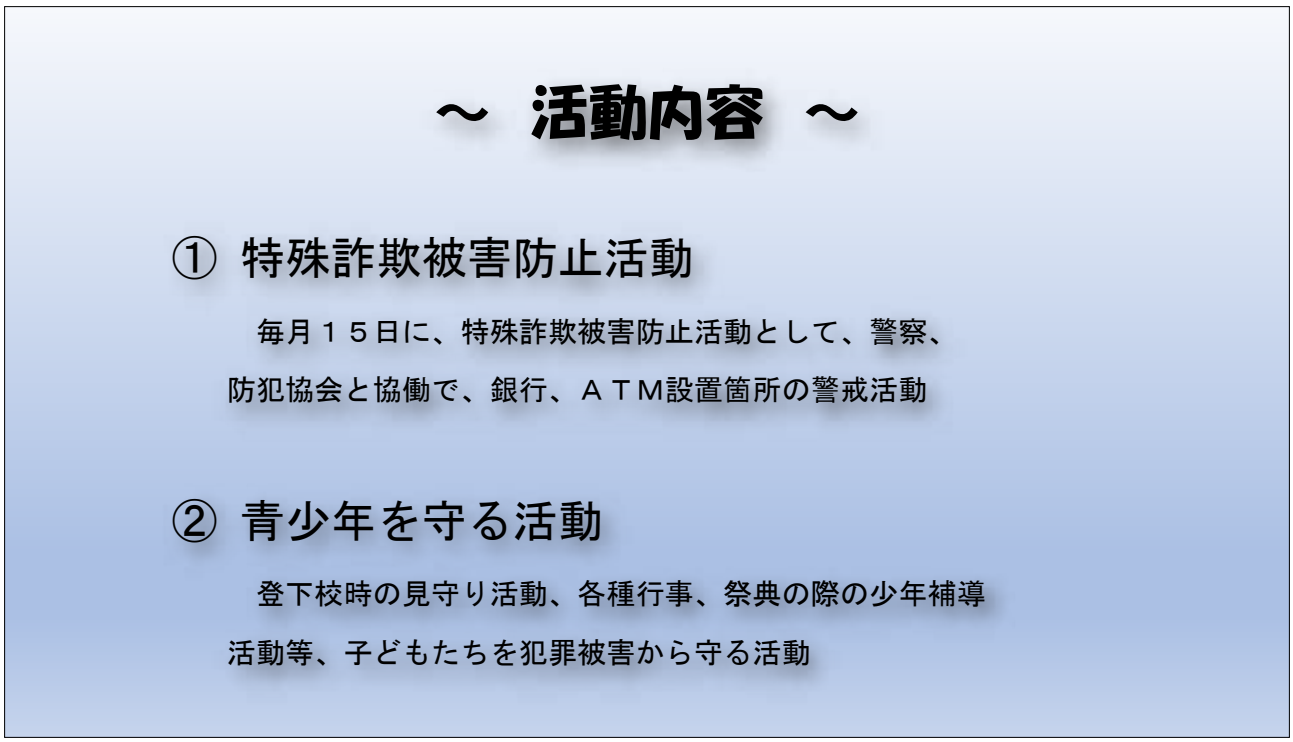
青少年育成アドバイザー、ＢＢＳ会、日赤アマチュア無線クラブ等の団体で構成。

○ 活動範囲は豊後高田市内全域。

○ 管内では、唯一、青色回転灯装備車両を有する。

次に団体の概要です。

当会は平成 15 年当時、車上狙い・自販機狙いなどの街頭犯罪の増加に伴い、有志約 30 名で活動を開始しました。現在会員数は 60 名で、主に青少年育成アドバイザー、BBS 会、日赤、アマチュア無線クラブなどの団体で構成されていますが、団体の枠を超えた多様な会員の参加により、組織の活性化を図っています。また、真玉地区、香々地地区にも分会を設け、活動範囲は豊後高田市内全域にわたります。豊後高田警察署管内では、青色回転灯装備車両を有する唯一の自主防犯パトロール隊です。



活動内容です。

①特殊詐欺被害防止活動

年金支給日などに、特殊詐欺被害防止活動として、警察・防犯協会と共同で銀行 ATM 設置箇所の警戒活動、チラシの頒布、注意喚起を行っています。また、大分県警から配信されるマモメールや豊後高田市役所の公共告知放送などを通じて入手した最新の詐欺の手口を、いち早く会員に周知しています。

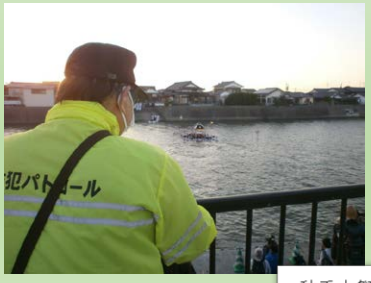
②青少年を守る活動

声かけ事案を認知した際の児童生徒の登下校時の見守り活動や、各種行事・祭典の際の少年補導活動等、子どもたちを犯罪被害から守る活動を実施しています。

地域安全マップ

自転車防犯診断

観光盆踊り大会での活動



秋季大祭での活動

また、子どもの危機回避能力を高めるため、小学生と一緒に街歩きをして通学路の危険な場所や安全な場所を探し、見つけた場所の写真やコメントを地図に貼り付けた「地域安全マップ」を作成しています。完成したマップは小学校の壁に掲示して、通学路の安全対策に活用されています。

～ 活動内容 ～

③ 青色回転灯装備車両によるパトロール

平成１７年１２月～青色回転灯を装備した防犯パトロールを開始。

この取り組みは、市民団体としては県内初の試み。

通常月１～４回、金曜夜１０時～青色回転灯装備車両でのパトロール。

③青色回転灯装備車両によるパトロール

平成 17 年 12 月から、会員所有の自家用車に青色回転灯を装備した車両によるパトロール活動を開始しました。当時、青色回転灯を装備した防犯パトロールの取り組みは、市民団体としては大分県内初の試みでした。通常、月 1 回から 4 回程度、夜 10 時から警察署に集合し、青色回転灯装備車両でのパトロールに出発します。自転車盗、自販機狙い、空き巣など犯罪の発生状況に応じ、商業施設、家屋などのパトロールを随時実施しています。仕事の移動中や散歩中など、会員個々人での「ながら見守り活動」も推進しています。

青色回転灯装備車両によるパトロール

なお、現在運用中の青色回転灯装備車両全体にドライブレコーダーを装備しており、パトロール時の安全を確保し、正確な情報提供を行うことができます。

ところで、青色回転灯は着脱式で、会員の私有車に装備しているため、買い替えなどの車両変更手続きを行うことが度々あります。その際、警察へ提出する書類の作成、陸運支局や軽自動車協会での車検証の書き換えなどの手続きは通常、会員本人が行うことになります。この手続きは書類の作成・提出や、豊後高田市から大分市内の陸運支局などに出向かなくてはいけないなど、手間のかかる作業です。当会ではパトロール隊の一員である豊後高田防犯協会の職員がその一切の手続きを行ってくれていますので、比較的スムーズにできていますが、もう少し簡素化されればなと思います。

～ 活動内容 ～

④ 会員研修

毎回パトロール前に、警察署から犯罪の発生状況等を確認し周知するとともに、「青色防犯パトロール講習会」等の研修会を定期的に開催し、パトロール活動の着眼点を再確認。

④会員研修

毎回パトロールの前に警察署から犯罪の発生状況等を確認し、会員に周知するとともに、青色防犯パトロール講習会などの研修会を定期的に開催し、パトロール活動の着眼点を再確認しています。

会員研修

懇親会での一枚

そして、総会や役員会の際には、懇親会を一緒に設けて会員同士のコミュニケーションを深め、結束を図っています。

～ おわりに ～

平成１６年から減少を続けていた大分県の刑法犯認知件数は、令和２年、微増に転じましたが、低水準で推移しています。

当会では、「自分たちのまちは自分たちで守る」というボランティア精神のもと、今後も、青色回転灯装備車両を増台するなど、更に積極的、継続的な活動を展開していきたいと考えています。

最後に、大分県の刑法犯認知件数は、平成 16 年から平成 29 年まで 14 年連続で減少を続け、その後も低水準で推移しています。その大きな要因は、地域の防犯力が向上したことにあると思います。当会の今後の活動方針としては、「自分たちのまちは自分たちで守る」というボランティア精神のもと、今後も人材確保や青色回転灯装備車両の増大などを実施し、さらに積極的・継続的な活動を展開していきたいと考えています。ご清聴ありがとうございました。

講　評

【福岡大学 大上 渉 先生】

はい、ご発表どうもありがとうございました。仏の里セーフティーパトロールの皆様も、継続的な日頃の防犯活動に心より敬意申し上げます。

お聞きして、非常に多様なメンバーの方々が連携されていると。それから、青パトによる夜間パトロール、特殊詐欺対策活動、ATM での活動、それから児童生徒の見守り活動ということで、非常に包括的な防犯活動を展開されているなというふうに思いました。

この多様なメンバーのところでも、アマチュア無線クラブや BBS 会ですよね、そうした異なるバックグラウンドを持っている人々が連携している点というのは、あまり聞いたことがなく、非常にユニークでもありますし、またこのチームの強みになっているんじゃないかなというふうに思いました。

あとは青パトや各種見守り活動ですけれども、これは良からぬことを考えている人に対して、やはり「見られている」という感覚を与えるわけですね。犯罪心理学的に見ても、この「見られている」という感覚は、犯罪抑止に非常に直結しています。地域の方々も自分たちは守られているんだという感覚を抱くことになりますし、隊員の方も地域の方も、この地域への関心や愛着、こういったことを促すという点では、犯罪心理学の理論で言えば「割れ窓理論」や「社会的な絆理論」を実践されているなというふうに思いました。私からは以上です。

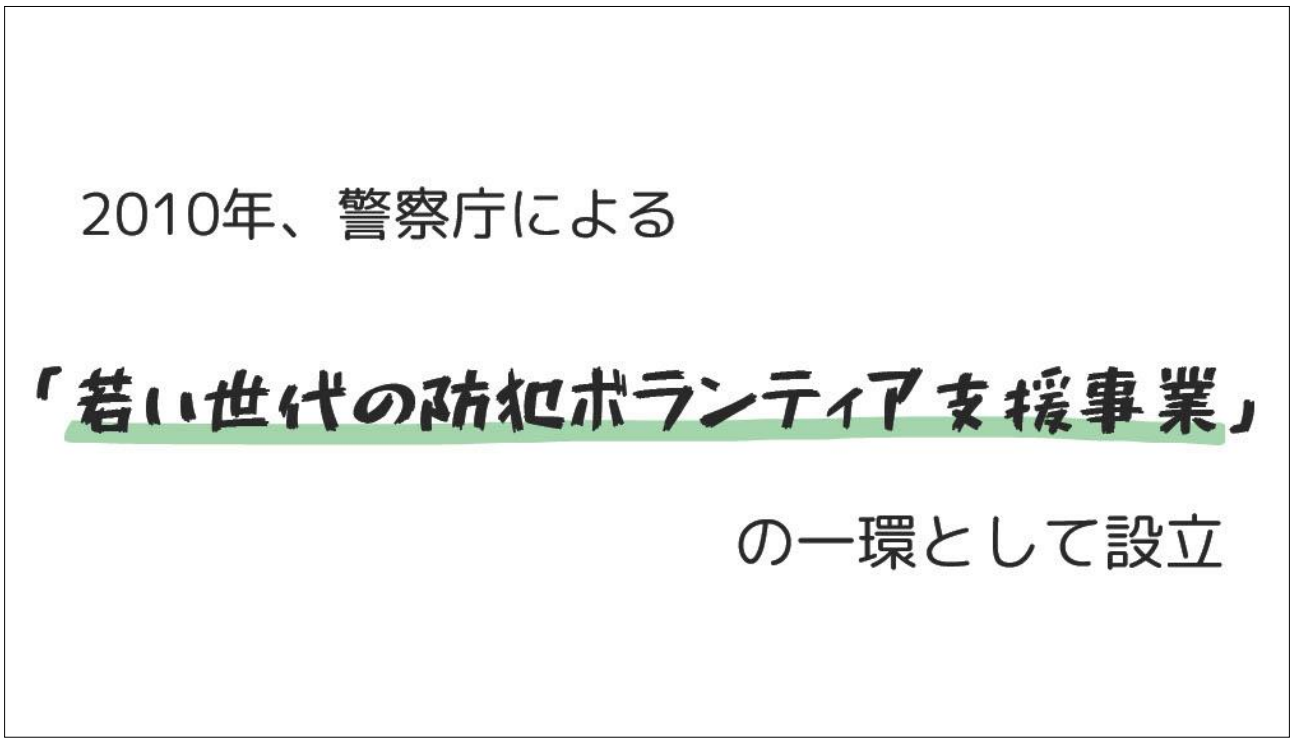
ななくま元気にするっ隊（福岡県）

こんにちは。私たちは福岡大学の防犯ボランティアサークル「ななくま元気にするっ隊」です。この度は九州ブロック防犯ボランティアフォーラムでの発表の機会をいただき、ありがとうございます。今から私たちの発表を始めさせていただきます。

では、最初に自己紹介の方をさせていただきます。

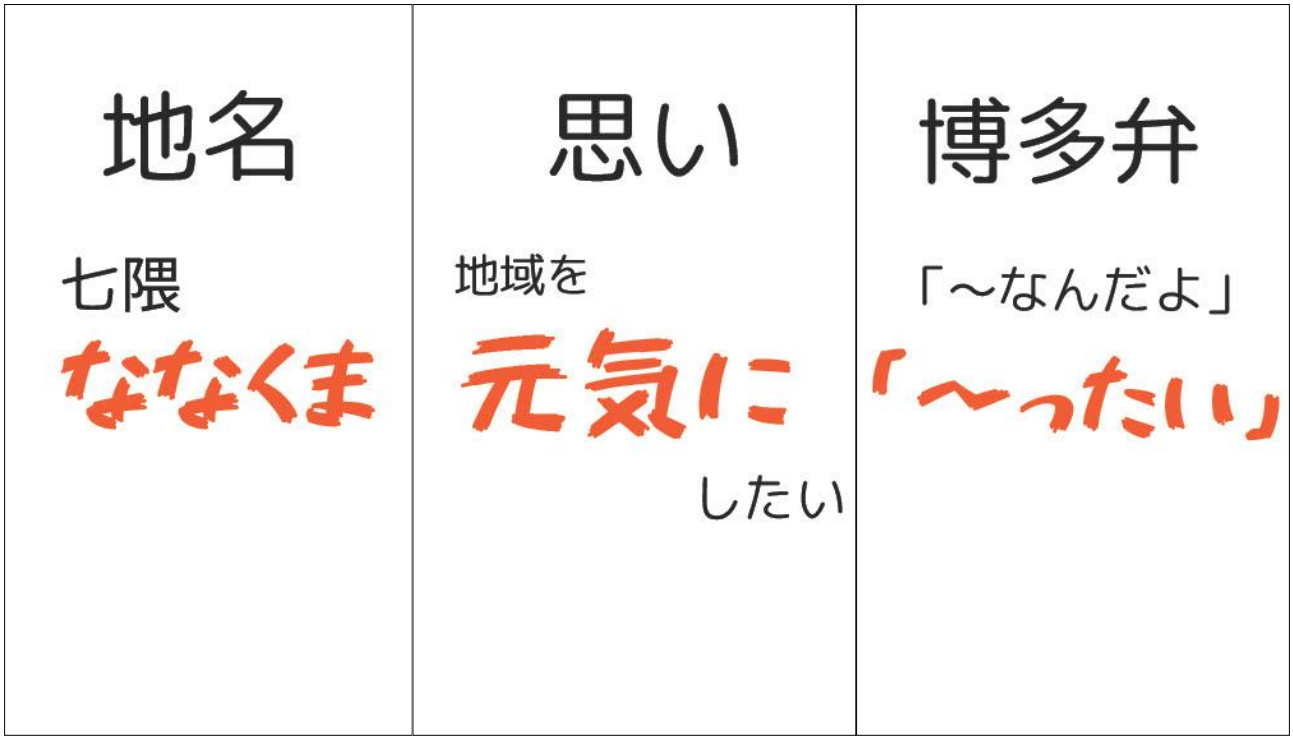
はじめまして、ななくま元気にするっ隊代表の小坪と申します。今、大学を休学して、いろんなことにチャレンジしている大学生です。明日、別府温泉に行くので楽しみにしています。

前年度の代表を務めました上野と申します。私は将来、警察官になることを目標としています。このななくま元気にするっ隊は、地域の方だけでなく地元警察の方とも活動ができるということを知り、私は入隊を決意しました。



次に、私たちのサークルについて紹介させていただきます。

私たちは 2010 年、警察庁による「若い世代の防犯ボランティア支援事業」の一環として設立されました。



私たちが学ぶ福岡大学のある「七隈」を、私たち学生の力で元気にしたいという思い、そして博多弁としてよく使われる「～するったい」という方言を掛け合わせて、

「ななくま元気にするっ隊」という名称になりました。

学年・学部・学科を問わず多くの学生が参加しており、大学付近に住んでいる地域住民の方々や、福岡市にある城南警察署の警察官の方とともに活動を行っています。

こちらご注目ください。

これは七隈元気にするっ隊のマスコットキャラクターである「ななくまん」です。ななくまんは城南区を守るヒーローになってほしいという思いから、このマントがデザインに加えられました。そして耳には、私たちが通う福岡大学の略称である「FU」が描かれています。胸には福岡大学の住所でもある「七隈」の「7」という文字がついています。そしてこの太い眉毛ですが、みんなに親しみやすいキャラクターになってほしいという願いが込められています。

近年の活動実態についてです。サークルの創立当初よりも活動の頻度は落ちてきていると感じています。

その原因として考えられるのが、コロナ禍です。コロナ禍以前は福岡市の天神・大名地区の落書き消しなど、さまざまな大人数での活動を行っていたのですが、コロナをきっかけにそのような活動が制限されて活動自体が減少してしまったことを受け、現在も参加人数は減少の傾向にあります。そこで私たちは以前のような濃い活動に戻すためにも、活動の内容の工夫や頻度、広報の仕方などを日々模索しております。

私たちななくま元気にするっ隊のモットーは、「自主的に、無理のない範囲で活動すること」であり、活動予定が決まった時点でSNSを利用して隊員に情報を共有し、参加者を募っております。活動の予算については、福岡県防犯協会より支給していただいている10万円を活動予算として使用しており、参加するメンバーにとっても金銭的な負担がかからないようにしております。このように恵まれた環境ではあるものの、満足のいく活動は行えていないということが、現在の私たちの課題であります。

次に、活動の実績についてです。

まずは地域住民の方とのパトロールです。このパトロールは毎月第三木曜日に行われており、地域住民の方々と一緒に、福岡大学の近くや付近にある金山小学校という小学校の周辺をパトロールする活動です。この活動は現在でも継続して行っております。私たち大学生は普段、朝や昼に活動することが多いのですが、このパトロールは夕方から夜にかけて行われることが多いです。普段よく目にする場所でも、夜になると危ない場所になったりすることがあります。この活動は、私たち学生がそのような危険な場所を把握し、普段から危険意識を持つという点で非常に意義のある活動となっております。

昨年度の活動②

サイバーパトロール

次にサイバーパトロールです。これは現役の警察官の方と一緒にSNSやインターネット上に潜む危険について講習を受け、実際にIHC（インターネット・ホットラインセンター）に通報するというものになっております。例えば、X（旧Twitter）上で薬物や闇バイトに関する造語や隠語を検索し、犯罪の可能性がある投稿などを実際にそのIHCに通報することで、多くの犯罪を防ぐことができると考えております。今年もこの夏に、この活動を行う予定となっております。

昨年度の活動③

警察や自治体との
各種犯罪防止
キャンペーン

次に、警察や自治体の方との犯罪防止キャンペーンです。私たちは多くの協力のおかげで様々な活動に参加できていますが、ここでは主に二つ紹介させていただきます。

一つ目は性犯罪防止キャンペーンです。これは大学の最寄り駅構内で、警察の方や地域住民の方と一緒にビラやティッシュを配り、痴漢やつきまといなどの性犯罪に注意を促す活動です。

二つ目は「城南和っしょい」への参加です。この「城南和っしょい」は毎年福岡市城南区で開催されており、私たちは毎年参加させていただいております。昨年度の活動としては、小さい子供向けのイベントとして、子どもたちと一緒に防犯ブザーをデコレーションし、啓発活動に取り組みました。防犯ブザーを配ることができたとともに、子どもたちに直接話すことができたので、しっかり注意喚起をすることができ、大変意義のある活動になったと考えております。

昨年度の活動④

児童や園児に対する
防犯教室

はい、そして次は防犯教室です。児童や園児に、夏休みに防犯教室を行っております。夏休みは子どもにとって外出の機会が増えるタイミングなので、この時期に地域の公民館で防犯教室を行って、実際に注意喚起をしております。

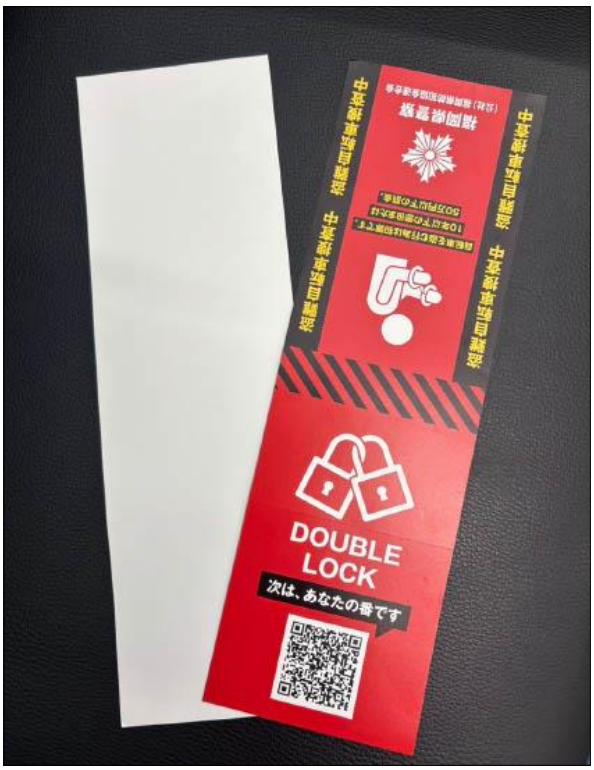
昨年度の活動⑤

自転車盗難防止
啓発タグ創作
「次は、あなたの番です」

そしてこちらが、昨年度、学生防犯ボランティアサミットに私たちが参加し、福岡県内で実際に使用する自転車盗難防止タグを作成したものです。

こちらが実際に作成したタグになります。
数ある学生防犯ボランティアの中から、私たちななくま元気にするっ隊がデザインしたものが採用していただき、実際に今月６月の頭から、福岡県警の方に使用していただいております。

福岡県は近年、自転車の盗難が増加しており、その対策としてこのタグを作成しました。こちらにQR コードがついてるんですけど、この QR コードを読み込むことで、実際に福岡県警のホームページに飛ぶようになっており、あまり活動の実態を知らない人でも、福岡県では盗難が多いということを知ることができると思っております。



そして、「次はあなたの番です。」という文言は皆さん聞いたことがあると思いますが、これが見る人の心に馴染み深い言葉でもあるので、しっかり見る人の心に訴えかけるとともに、「何が私の番なんだろう」と思わせることができるのではないかと考え、このデザインを作成しました。

そして、こちらが県警に採用していただいております。2 ロックをしてもらえるような注意喚起にもなっているので、見る人も、また自転車を盗もうとしている人も注意できるようなタグのデザインになったと考えております。

私たちななくま元気にするっ隊が結成されて、当時は全盛期で 100 人ぐらい人数がいたんですけど、そこから先ほどの通りコロナ禍を経てだんだん活動が縮小してしまって。それでもなんとか残っているメンバーで活動をつないできたんですけど、昨年度頑張ってくれたメンバーが今大学四年生で、結構就活とかで忙しくて活動に参加できないんですよね。それで残った、今年度の四年生を除いた隊員数が、なんと 3 人まで減少してしまっているんですよね。結構まずいですよね。そうなると、ちょっと頭の中に二文字が浮かんでくるんですよね。

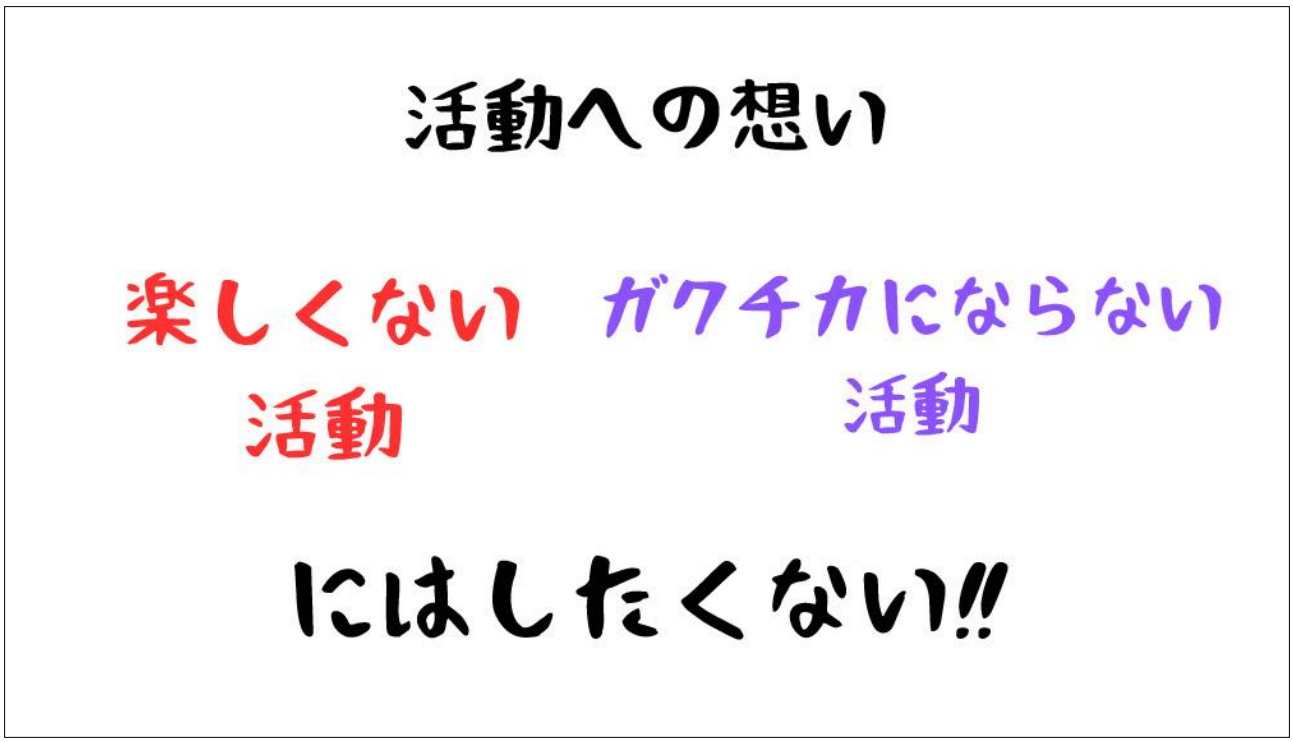
「廃部」してしまうんじゃないかと。これが一番実行はしたくないなと思ったので、めっちゃ頑張りました。

まず、知り合いがアーティスト活動をやっているんですけど、その人に依頼してめっちゃ可愛いポスター作ってもらったり、

いろんな人に来てほしいなあと思ったので、サークルの体験会として「巨大折り紙大会」を開催しました。めちゃくちゃ大きい模造紙をつないでチームで折り紙を折り、そのスピードを競う大会を行ったりしました。

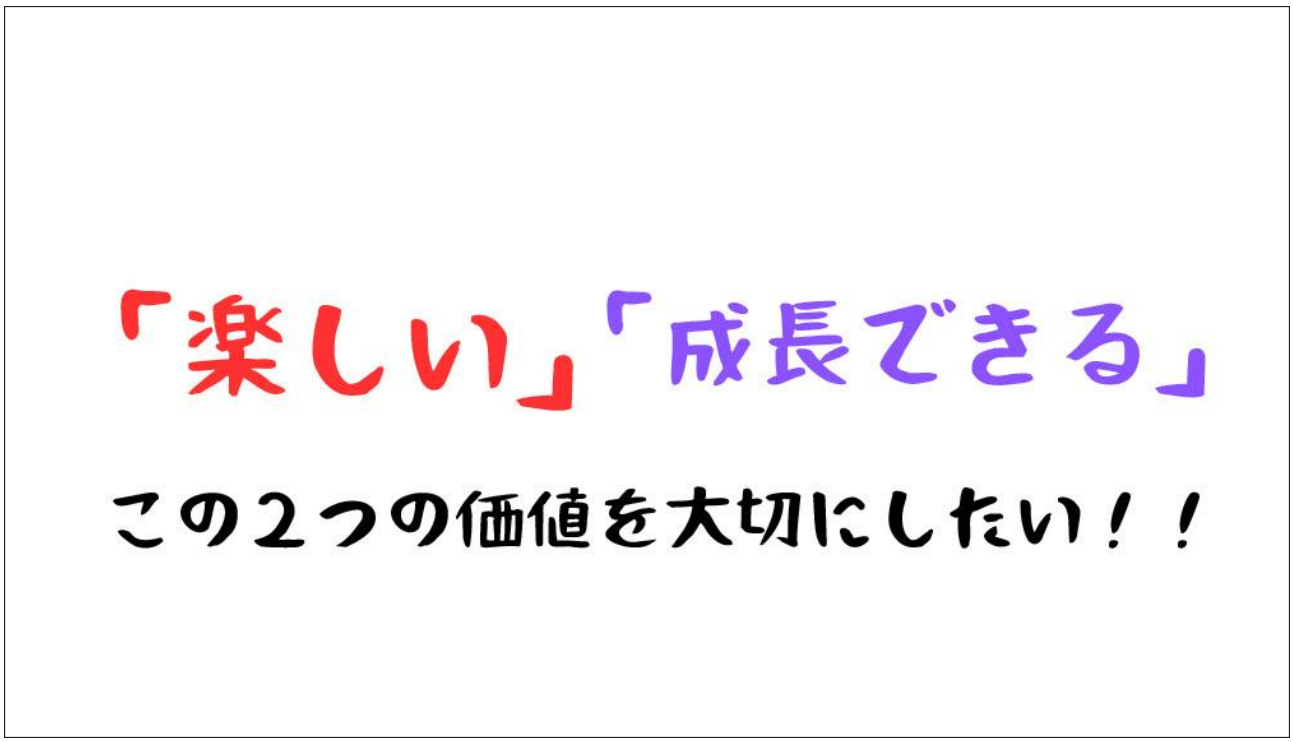
あとはひとりひとり声かけたりした結果、なんと今年度の隊員数、3 人から 30 名まで増やすことができました。（会場拍手）ありがとうございます。

なんとか 30 人集まってくれたんですけど、やっぱりもっと多い方が活動はより効果的になりますし、続けてもらうことが大事です。そのために私の活動への思いとして、こういった活動にはしたくないなというものが二つあります。



一つは、「楽しくない活動」にはしたくないなということです。やっぱりみんな大学生なんで、楽しいことがたくさんあるんで、そっちに時間とか使っちゃうんですけど、こちらでも楽しい活動ができたらなと思いました。

もう一つは「ガクチカにならない活動」にはしたくないです。「ガクチカ」っていうのが、就活の時によく問われる「学生時代に力を入れたこと」の略なのですが、結構大学生の新入生勧誘の時期になると、ほかのボランティアサークルさんが「うちの団体に入ったらガクチカになるよ」って言うんです。ただ単にボランティアに取り組むだけでは、そこまでいいガクチカにはなりません。



ですので、「楽しくない活動」については、逆に「楽しい活動」にしたい。「ガクチカにならない活動」については、「成長できるボランティア」ができたらいいと思い、この二つの価値を大切にしたいと考えました。

パトロール

×

交流会イベント

そこでさっそく一つ活動を実行しました。

毎月やってたパトロールなんですけど、これにある要素を付け加えました。

「交流会イベント」の要素です。

1人1枚「ちょい深」
トークテーマを配布

楽しい！

どうやって楽しんでもらう？
どうやったら参加者が増える？

成長できる！

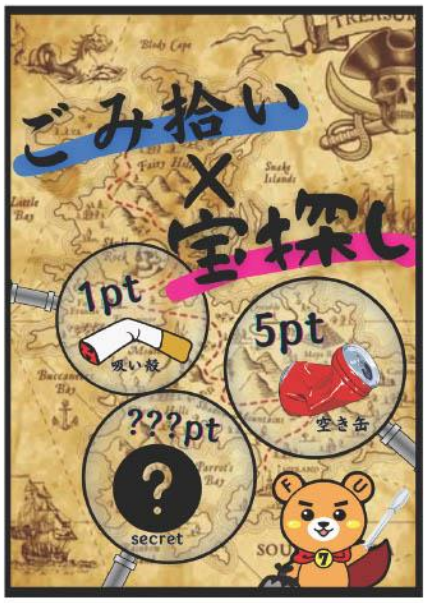
規模が大きくなる
人との繋がりが増える

防犯効果UP！

どういうことかというと、ひとりひとりにちょっと深いトークテーマを用意して、普段はできないような、ちょっと深い話をしながら夜の街を散歩してもらう。これ結構楽しかったです。

運営側の視点としては、参加者がどうやったら楽しんでもらえるかな、どうやったら参加者が増えるかな、と考えることで価値を生み出す経験ができます。なので、これは就活に活きると思います。成長できます。

また、参加者が増えたら規模が大きくなりますし、そのトークテーマを配ることで、地域住民同士のつながりが増えるので、これは防犯効果アップにもつながると思います。



ごみ拾い
×
宝探し

ここからは、今後やっていきたいなという活動の例をいくつかご紹介します。

一つ目は、ゴミ拾いに「宝探し」の要素を掛け合わせたら面白いんじゃないかなって思いました。

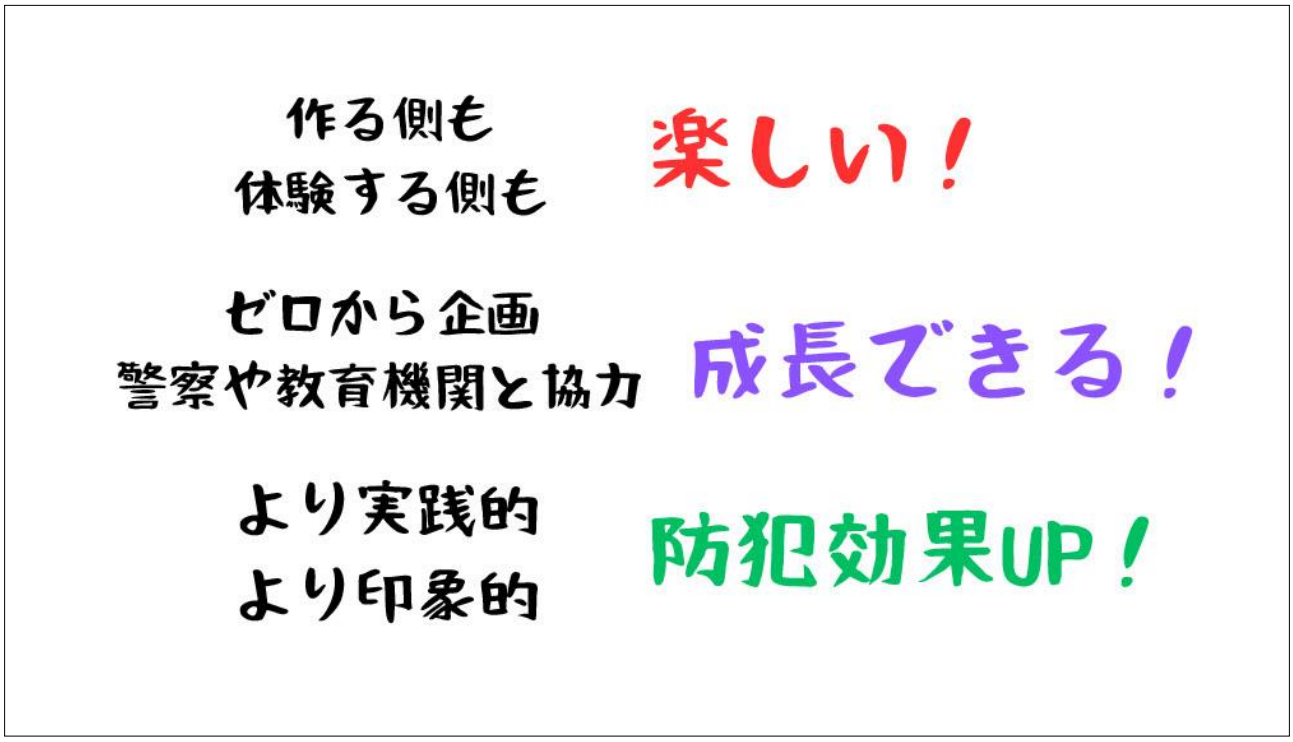
ごみ拾いに
エンタメ性をプラス
楽しい！

ゼロから企画
自治体とのコラボ
成長できる！

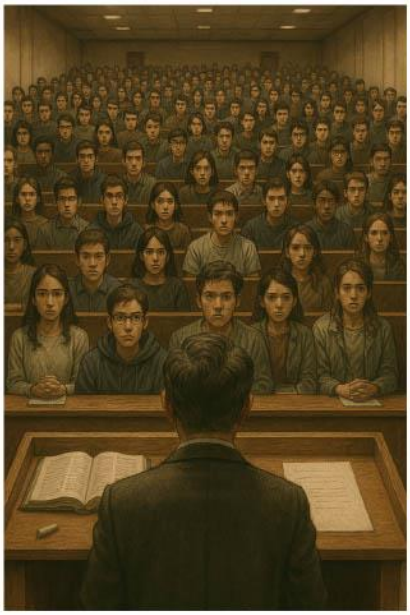
参加者増加
モチベ上昇
防犯効果UP！

これはゴミ拾いにエンタメ性がプラスされるので、やっぱり楽しいと思います。あと、チームでゼロからどういった内容にしようか企画したり、自治体さんとコラボしたりすることで、成長できるとは思います。また、楽しい活動にすることで参加者が増加したり、ゲーム性が加わることでモチベーションが上がるので、たくさんゴミが拾えて防犯効果アップするんじゃないかなと思います。

もう一つが､防犯教室に「お化け屋敷」の要素とか加えたら面白いんじゃないかなと思ってます。



これも作る側も体験する側も楽しいと思いますし、これもゼロからチームで企画したり、警察の方や教育機関の方との協力も必要になるので、いろんな人と一緒に何かやっていける経験ができるので成長できると思います。また、参加者にとってはより実践的で、より印象的な内容になるので、防犯効果もアップすると思います。より実践的ってところだと、例えば不審者対策の防犯教室をやるとしたら、そこで「怪しい人は見た目じゃわからないんだよ」って教えるんですけど、最近だと女子中学生３人が知らない人からジュースを受け取り飲んで体調不良になるという事件があったじゃないですか。そういった時にちゃんと断れる練習、自分で応答する内容などを考えて、より実践的にやることで防犯効果アップすると思います。



大学の授業を借りて
防犯講座

もう一つの活動で、大学の授業を５分間だけお借りして防犯講座ができたらいいなと思います。

受ける側から
教える側になって
楽しい！

先生と交渉
大人数の前で喋る
成長できる！

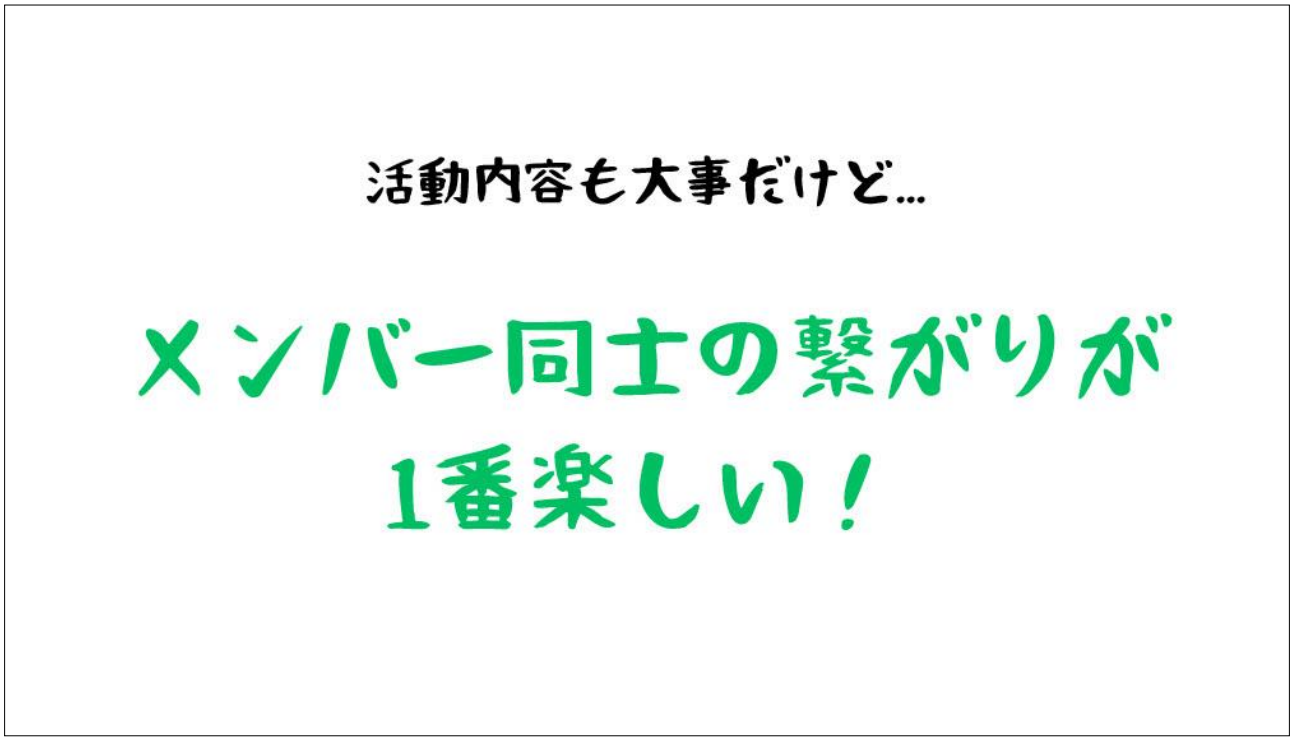
効率的
最も知識が必要な人に
届けられる
防犯効果UP！

こちらは受ける側から教える側になって、結構楽しいんじゃないかなと思います。この活動をするにあたり、大学の先生方と交渉したり、大人数の前でしゃべる経験ができます。自分は結構緊張してるんですけど、以前よりは慣れてきて、何回かこういった経験ができたからです。経験すると自信がつきますし、就活で面接を受けるときも緊張しないので成長できるんじゃないかと思います。また、より効率的に最も知識が必要な人に届けられるって書いてあるんですけど、これ一つ思ってたことがあって。私たちが今まで防犯キャンペーンで歩いてる人にチラシとか配ったりするんですけど、そこに全文ちゃんと目を通してくれる人って、ここに集まっていただいている方々みたいに、防犯意識があらかじめ高い人だと思うんです。で、本当に防犯の知識を

届けないといけない、必要なのはそこまで防犯意識が高くない人だと思うので、大学の授業をお借りすれば、そういった人たちにもお話聞いてもらえて、防犯の知識が届けられるんじゃないかと思います。その点で、防犯効果アップするかなと考えます。

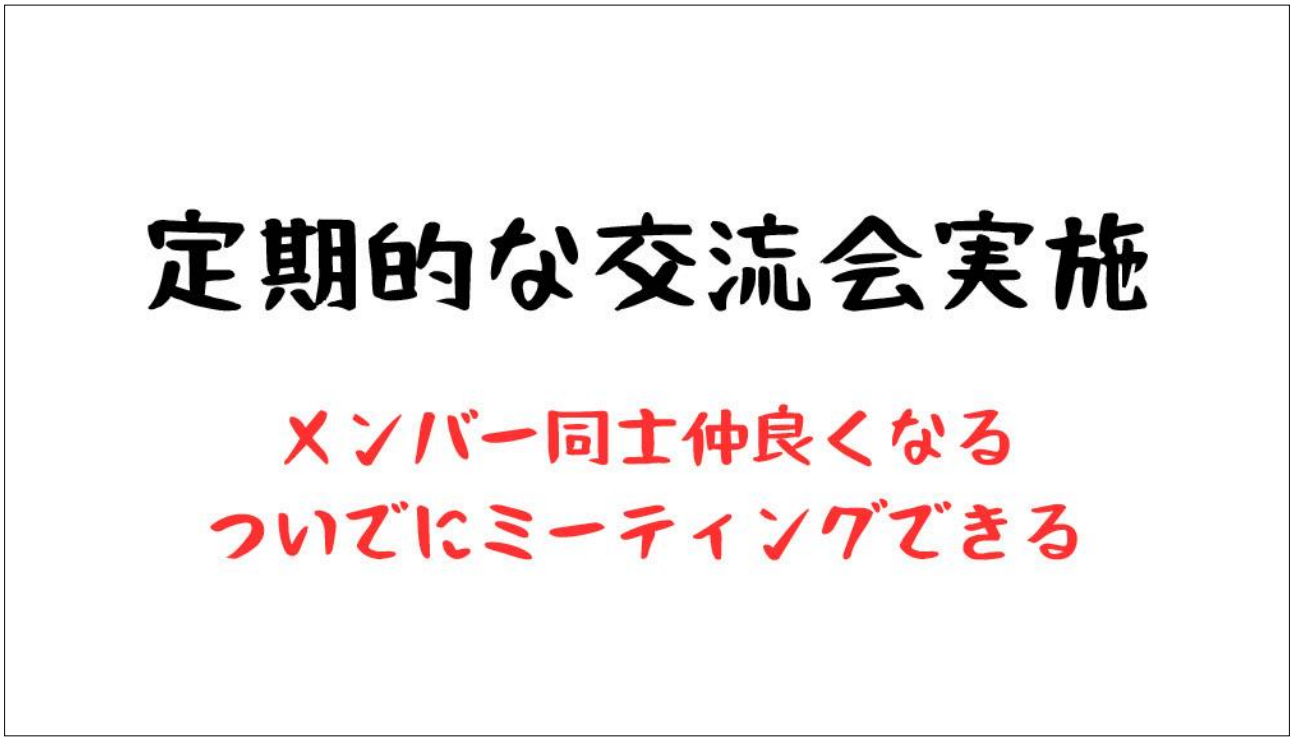
今後の課題は、隊員のモチベーション維持です。

いろんな団体さんが来られていると思うんですけど、やっぱりこちらの問題、後継者不足だったり悩んでいる団体さんが多いと思います。



その上で、いろんな活動内容を考えている中で、やっぱりメンバー同士のつながりが一番楽しいじゃないですか。僕、明日別府の温泉に行くんですけど、同じ「別府旅行」っていうコンテンツ

でも、誰と行くかによって全然楽しさが変わってくると思うんですよ。ちなみに明日一人で行くので、ちょっと寂しいです。そんな感じで、やっぱりどこに行くかじゃなくて、誰と行くかが大事だと思います。



なので、もう防犯ボランティアにこだわらず、関係なしに定期的な交流会とかやれたらいいなと思います。これができたらメンバー同士仲良くなると思いますし、ついでにちょっと真面目なミーティングとかもできたら、次の活動にもつなげられるかなと思います。

また、私代表が各隊員と一対一で面談とか実施できたらいいなと思います。ここでもちろん仲良くなれたらいいんですけど、各隊員の将来の目標とか、抱えている課題をリサーチできたら、

1人1人に役割を与える

参加してる感覚アップ
各隊員の成長

ひとりひとりに役割を与えられるんです。ひとりひとりに役割を与えることで、より参加している感覚、所属している感覚がアップしてモチベーションにつながりますし、また、私たちの一つの大事にしている価値である、各隊員の成長につなげるために、例えば、人とコミュニケーションをとるのがちょっと苦手な隊員さんがいても、そういう人たちこそ、いろんなキャンペーン活動や大学での講義活動とか行ってくれたら絶対自信つくと思うので、各隊員の成長に繋げられると思います。

応援よろしくお願いします！

ご清聴ありがとうございました！

私たちは、まだまだ防犯ボランティアに関して知見が浅いので、今日はいろいろと意見交換ができたらいいなと思います。応援よろしくお願いします。ご清聴、ありがとうございました。

■講　評

【福岡大学 大上 渉 先生】

実は私、福岡大学なんですけども、これまで福岡大学のななくま元気にするっ隊とは全く接点がなくて、今日初めてお会いして彼らの活動を聞きました。

大学生を中心とした防犯活動というのは、ボランティア参加の裾野を広げたり、それから防犯ボランティアの世代間の継承につなげられるという点で、とても重要だなというふうに思っています。それから、ななくま元気にするっ隊が掲げている「楽しい」と「成長」、この二つの価値観があったと思うんですけれども、従来の責任感みたいなものとか、「地域を守りたい」といったような防犯ボランティアとは、またちょっと一線を画した取り組みの仕方かなと思いました。

若い世代ならではのサイバーパトロールとか、それから、私の記憶では愛知県とか福岡県が多分先行してやっていると思うんですけれども、ナッジとか仕掛け学、つまり人々を望ましい行動に向かわせるための考え方を取り入れて、盗難防止の防犯タグ、こういったものについては、よく勉強なされているなというふうに思いました。

ちょっと一つ質問なんですけれども、将来やってみたいなということで、ゴミ拾いと宝探しのイベントを考えているとお話でしたけど、これは福大生を対象にということでしょうか。

【発表者（小坪氏）】

ご質問ありがとうございます。最初はプロトタイプというか、試験的な感じで、団体のメンバーだけだったり、福岡大学生のみだったりでやろうかなって考えています。そこでいろいろルール設定や規模感などの感覚を把握してから、今後の展望としては、よりいろんな人を巻き込んで、一般の方や子どもたちと一緒にできたらいいなと考えています。

【福岡大学 大上 渉 先生】

私、地域のおやじの会に入っているんですけども、おやじの会のイベントでもこういった取り組み良さそうだなと思いました。ゴミ拾いと宝探しっていうのは、先ほどもお話しましたけども、「割れ窓理論」と非常にこう関連が高い取り組みですし、特に、福大生にまずは参加してもらいたいなと思ってるんですね。

福大生はあんまり下宿している人がいなくて、いろんなところから七隈にやってくると。でも、七隈にやってくるだけで、自分の大学がある七隈のことについてほとんど知らないんですよね。で、そういった宝探しみたいなものをすることによって、七隈の問題点みたいなところに気づいてもらったり、共有化するといったところでは、とても良い取り組みじゃないのかなと思いました。

それから、コロナ禍によって団体存続の危機にあったと。私も大学の少林寺拳法部の部長をやっているのですけども、私の部もそうです。創意工夫によって新入隊員を集めて、見事に復活したっていうことは、皆さんにとって非常に大きな糧になったのかなと思います。

今後、元気にするっ隊の取り組みを持続可能なものにするには、もうすでにやられているのかもしれませんけれども、OB・OG の皆さんとの接点を強化、こういったものをして、アドバイスみたいなものとか、ぶっちゃけ金銭的な支援みたいなものをですね、受けられるようにすることも良いのではないかなというふうに思いました。引き続き、頑張ってください。以上になります。

■ 質疑応答

【質問者】

こんにちは。ゴミ拾いとか、そういったことか防犯活動につなげていくっていうのはすごくいいことだと思いました。私も 5 年間ぐらい自治会の活動で、そういったゴミ拾いをしながら、防犯パトロールということをやっております。その中で、たばこの吸い殻を見つけて、ちょっと未成年者が吸っているのを摘発したりとか、気持ちを理解してもらったりとか、ライターガスを吸っている人を発見した際には 110 番通報して、ということもあるので、ぜひそういうことにつなげていただきたいと思うんです。

私は田舎なので、非常に平和です。で、福岡市ですよね。過去に警固公園なんかで未成年者が道を踏み外したという報道を耳にしたりします。やっぱり人が多いと、良い人も多いでしょうが、悪い人も多いということがあると思うんですけれども、そういった活動をしながら危なかったとか、こういう実績があるとか、例えばサイバーパトロールでの実績があれば、教えてください。

【発表者（上野氏）】

はい、ご質問ありがとうございます。実績としては、正直な話をすると、自分は今、大学四年生なんですけど、自分が入学する前の方が活動実績は多かったと思います。

例えば、今行っている活動だとサイバーパトロールですね。サイバーパトロールは先ほども申し上げた IHC というところに通報するものでして、実際に警察の方から講義を受けた後、自分たちでも学校のパソコンとかで検索して、例えば薬物の隠語で「チョコ」とか「スピード」とか、調べたらもうぶわーって出てくるので、そういうのを実際に通報することで、そのアカウントが停止されたという報告も聞いています。自分たち若い世代は SNS には強いと思っているので、そういった面での実績があります。

あと落書き消しとかですね。天神、それこそ警固公園周りには落書きがすごく多いです。実施した先輩から聞いた内容ですが、年末にまとめて消す活動をして、警固公園が綺麗になったという報告もいただくっていうのを聞きました。今はそういう活動が全然できてないので、もうちょっとそういう活動を増やしていけたらいいなと思っております。以上です。

【質問者】

はい、どうもありがとうございました。これからも頑張ってください。

西大村地区防犯協会（長崎県）

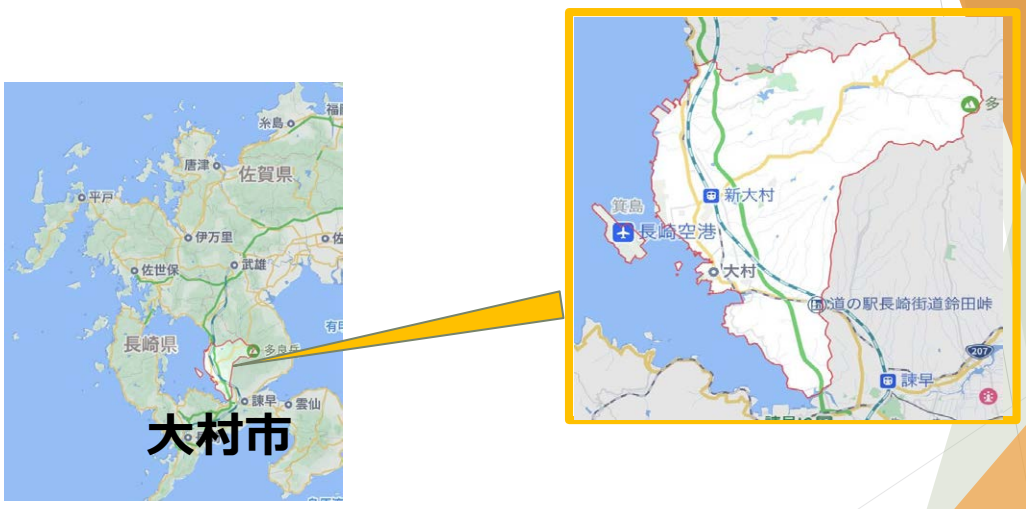
皆さん、こんにちは。

私は長崎県の大村市からやってまいりました、西大村地区防犯協会の会長をしております、百田と申します。フォーラムで発表できる場をいただき、大変感謝しております。我々、西大村地区防犯協会の活動をこれから発表していきたいと思っております。ご清聴よろしくお願いいたします。

私たち西大村地区防犯協会は、地域の子どもたちの安全を守るために、地域に根差した防犯活動を続けています。

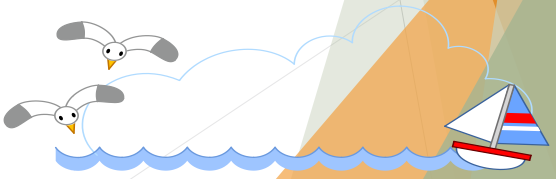
活動地域の紹介

活動地域：大村市（西大村地区）



初めに活動地域について説明させていただきます。

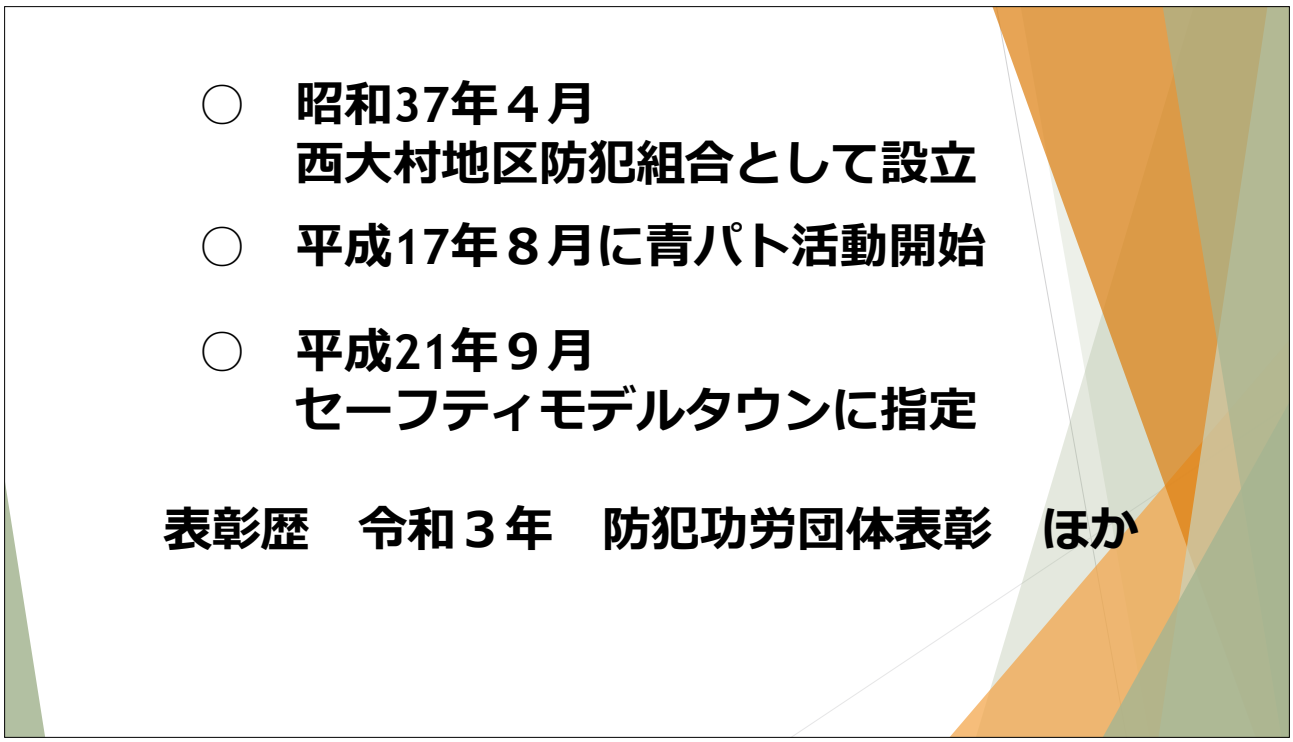
活動地域は長崎県大村市の西大村地区という場所です。大村市について簡単に説明いたしますと、大村市は長崎県本土の中央部に位置し、多良山系（たらさんけい）の山々と穏やかな大村湾に囲まれた自然豊かな地域です。一方で、空の窓口の長崎空港や長崎自動車道のインターチェンジ、それに 2022 年に開業した西九州新幹線の駅が市内にあります。利便性もよく、交通の要所として栄えております。自然と都市機能のバランスがとれた暮らしやすい街になっています。



このような暮らしやすい街・大村市は、県内で唯一人口が増加している市であり、今年中には人口 10 万人になろうとしております。そして、私たちが活動する西大村地区は、大村市の中で最も世帯数が多い地域となっており、市内に 8 地区ある中で、我々の西大村地区は 3 万 2 千人ぐらいの人口を持っております。

西大村地区
防犯協会の概要

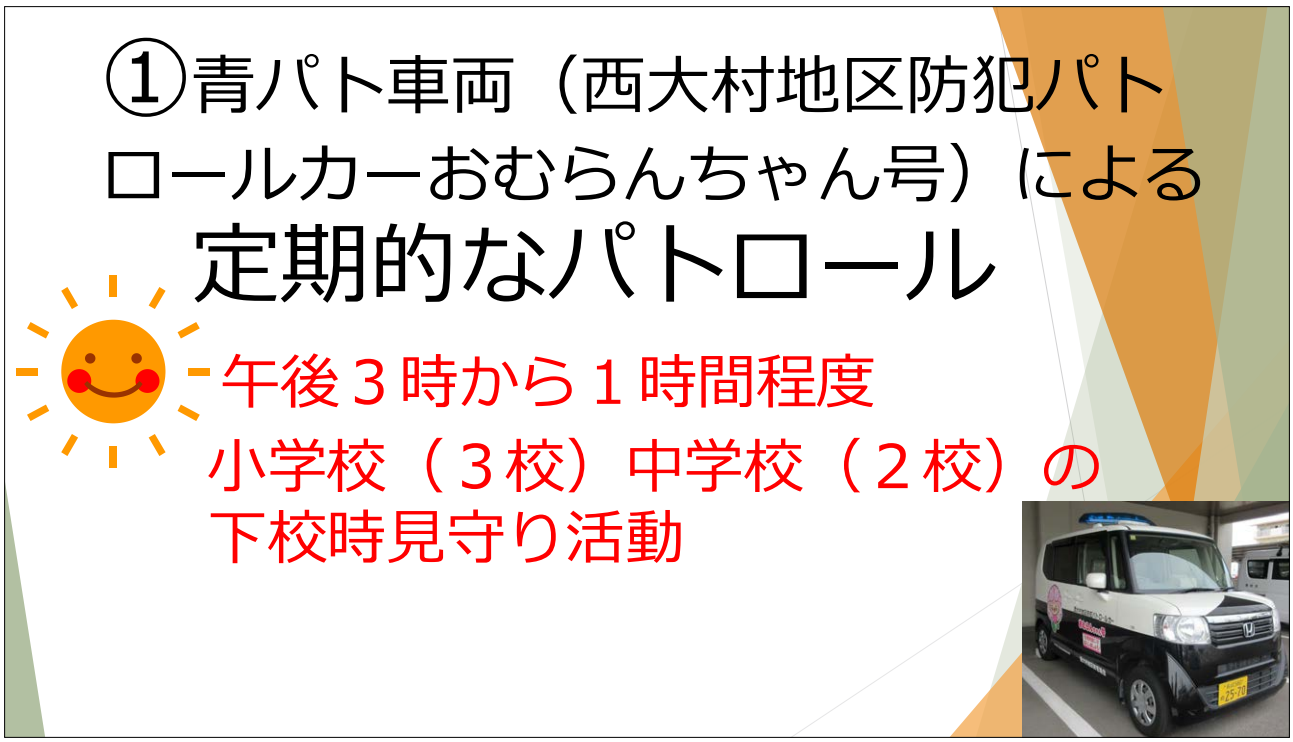
ここで、私たちの西大村地区防犯協会について説明をさせていただきます。



西大村地区防犯協会は、昭和 37 年に設立しました。当地区は大村市内において最も世帯数が多い地区であり、全国各地で幼児・児童が被害者となる凶悪事件が発生したことを受けて、平成 17 年に青パト活動を開始して、子どもに対する声かけ事案などの未然防止に取り組んでいます。青パト隊としての活動年数は 19 年になります。

また、平成 27 年には大村市のセーフティモデルタウンに指定されました。表彰歴については最近で言いますと、令和 3 年に警察庁長官と全国防犯協会連合会会長から、防犯功労団体表彰を受賞しています。

次に活動内容について説明させていただきます。



活動内容といたしましては、青パト車両による定期的なパトロールをいたしております。これは 10 年ぐらい前に防犯協会で購入いたしました「西大村地区防犯パトロールカー おむらんちゃん号」（おむらんちゃんというのは大村市のマスコットの名前）です。

西大村地区防犯協会では、学校休日を除くほぼ毎日、午後３時から１時間程度、午後３時から４時までの間、防犯ベストとキャップを着用して、「おむらんちゃん号」で通学路の見守りパトロールを実施しています。児童生徒の下校時間に合わせてパトロールを行うことで、子どもたちの安全確保に努めています。西大村地区では道幅が狭くて交通量が多い通学路もあるため、そのような箇所を意識してルートを考えています。

年間計画表

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	火	休	1	木	L	1	日		1	火	D	1	金	休	1	月	C	1	水	F	1	土		1	月	K	1	木	元日	1	日		1	日	
2	水	休	2	金	M	2	月	N	2	水	E	2	土		2	火	D	2	木	G	2	日		2	火	L	2	金	年始休業	2	月	K	2	月	L
3	木	休	3	土	憲法記念日	3	火	O	3	木	F	3	日		3	水	E	3	金	H	3	月	文化の日	3	水	M	3	土	年始休業	3	火	L	3	火	M
4	金	休	4	日	みどりの日	4	水	A	4	金	G	4	月	休	4	木	F	4	土		4	火	I	4	木	N	4	日		4	水	M	4	水	N
5	土		5	月	こどもの日	5	木	B	5	土		5	火	休	5	金	G	5	日		5	水	J	5	金	定例会	5	月	休	5	木	N	5	木	O
6	日		6	火	振替休日	6	金	C	6	日		6	水	休	6	土		6	月	I	6	木	K	6	土		6	火	休	6	金	O	6	金	A
7	月	K	7	水	N	7	土		7	月	H	7	木	休	7	日		7	火	J	7	金	L	7	日		7	水	休	7	土		7	土	
8	火	L	8	木	総会	8	日		8	火	I	8	金	休	8	月	H	8	水	K	8	土		8	月	O	8	木	出初式	8	日		8	日	
9	水	M	9	金	O	9	月	D	9	水	J	9	土		9	火	I	9	木	L	9	日		9	火	A	9	金	L	9	月	A	9	月	B
10	木	N	10	土		10	火	E	10	木	K	10	日		10	水	J	10	金	M	10	月	M	10	水	B	10	土		10	火	B	10	火	C
11	金	O	11	日		11	水	F	11	金	L	11	月	山の日	11	木	K	11	土		11	火	N	11	木	C	11	日		11	水	建国記念の日	11	水	D
12	土		12	月	A	12	木	G	12	土		12	火	休	12	金	定例会	12	日		12	水	O	12	金	D	12	月	成人の日	12	木	C	12	木	E
13	日		13	火	B	13	金	H	13	日		13	水	休	13	土		13	月	スポーツの日	13	木	A	13	土		13	火	M	13	金	定例会	13	金	F
14	月	A	14	水	C	14	土		14	月	M	14	木	休	14	日		14	火	N	14	金	B	14	日		14	水	N	14	土		14	土	
15	火	B	15	木	D	15	日		15	火	N	15	金	休	15	月	敬老の日	15	水	O	15	土		15	月	E	15	木	O	15	日		15	日	
16	水	C	16	金	E	16	月	I	16	水	O	16	土		16	火	L	16	木	A	16	日		16	火	F	16	金	A	16	月	D	16	月	G
17	木	D	17	土		17	火	J	17	木	A	17	日		17	水	M	17	金	秋季大祭	17	月	C	17	水	G	17	土		17	火	E	17	火	H
18	金	E	18	日		18	水	K	18	金	B	18	月	休	18	木	N	18	土		18	火	D	18	木	H	18	日		18	水	F	18	水	I
19	土		19	月	F	19	木	L	19	土		19	火	休	19	金	O	19	日		19	水	E	19	金	I	19	月	B	19	木	G	19	木	J
20	日		20	火	G	20	金	M	20	日		20	水	休	20	土		20	月	B	20	木	F	20	土		20	火	C	20	金	市報	20	金	春分の日
21	月	F	21	水	H	21	土		21	月	海の日	21	木	休	21	日		21	火	C	21	金	市報	21	日		21	水	D	21	土		21	土	
22	火	G	22	木	I	22	日		22	火	休	22	金	市報	22	月	市報	22	水	D	22	土		22	月	J	22	木	E	22	日		22	日	
23	水	市報	23	金	市報	23	月	市報	23	水	市報	23	土		23	火	秋分の日	23	木	市報	23	日	勤労感謝の日	23	火	市報	23	金	市報	23	月	天皇誕生日	23	月	市報
24	木	H	24	土		24	火	N	24	木	休	24	日		24	水	A	24	金	E	24	月	振替休日	24	水	K	24	土		24	火	H	24	火	K
25	金	I	25	日		25	水	O	25	金	休	25	月	休	25	木	B	25	土		25	火	G	25	木	休	25	日		25	水	I	25	水	休
26	土		26	月	J	26	木	A	26	土		26	火	休	26	金	C	26	日		26	水	H	26	金	休	26	月	F	26	木	J	26	木	休
27	日		27	火	K	27	金	B	27	日		27	水	休	27	土		27	月	F	27	木	I	27	土		27	火	G	27	金	K	27	金	休
28	月	J	28	水	L	28	土		28	月	休	28	木	休	28	日		28	火	G	28	金	J	28	日		28	水	H	28	土		28	土	
29	火	昭和の日	29	木	行政委員総会	29	日		29	火	休	29	金	休	29	月	D	29	水	H	29	土		29	月	年末休業	29	木	I				29	日	
30	水	K	30	金	M	30	月	C	30	水	休	30	土		30	火	E	30	木	研修旅行	30	日		30	火	年末休業	30	金	J				30	月	休
			31	土					31	木	休	31	日					31	金	研修旅行				31	水	年末休業	31	土					31	火	休

私たちの団体では、地区を３名１組の 15 グループに分けて、このように年間計画を立てて、１グループが月に１回から２回程度の活動をすることで、それぞれの負担を軽減しながらも毎日見守り活動を実施しております。

②　行政機関・関係諸団体との連携

- **管轄の警察署と合同で防犯キャンペーンの実施**
- **管轄の警察署に依頼して防犯講話の実施**

行政機関・諸団体との連携といたしまして、現在多発している偽電話詐欺被害防止対策として、警察が取り組んでいる年金支給日におけるキャンペーンにも積極的に参加して、銀行の前に立って詐欺防止を呼びかけたりいたしております。

また、悪質商法や偽電話詐欺防止、犯罪情勢の情報収集のため、町内会長会や老人会等で防犯講話を開催したり、生活安全ニュースや交番だより等を地域住民に回覧・配布して、被害の未然防止を図っております。

西大村地区のアピールポイント

③　街頭防犯カメラの設置

西大村地区では、街頭防犯カメラの設置を行っております。
これは、町内会に頼んで町内会が設置するということで、大村市の地域活性化予算というものを活用しながら、行っています。

きっかけは、
地区内で発生した強盗事件

きっかけは、地区内で発生した強盗事件がありました。西大村地区では令和３年に地区内で強盗事件が発生し、住民の不安を和らげるために、同年に街頭防犯カメラを１台設置しました。そのことによって、地域内の住民から「こういうのはいいね」と好評だったため、翌年から防犯カメラを増設することを始めました。

現在、大村市の地域元気交付金を活用した西大村地区地域活性化事業により、令和4年度から3カ年計画で防犯カメラを設置、警察と協議の上で通学路や交通事故の多い箇所に設置することで、事件の未然防止に役立っています。維持費については各地区の町内会費で賄っています。

本来、西大村地区には45町内あるのですが、そこに全部つけたかったのですが、維持管理費も町内会で負担するということですので、ちょっと負担できないという町内もありまして、現在16カ所設置しています。この設置については、交差点などに2台つけて、道路をどちらからも見えるようにするという付け方をいたしまして、子どもたちの登下校をちゃんと追えるような仕組みになっております。

西大村地区
防犯協会の課題

最後に、西大村地区防犯協会の課題についてお話をさせていただきます。

課題は・・・・

防犯活動を行う
後継者の確保と育成

現在会員は 52 名いるんですが、高齢化も進んで、なかなか後継者の確保とか育成が課題になっているような状況です。

課題の解決に向けた取組方策

- 勇退時には若い人を推薦してもらう入れ替え制を実施
- 町内会だよりで活動を掲載することにより積極的に参加してもらえるよう工夫

課題に向けた取り組み方策は、高齢者が多く所属する団体ですので、病気や引退されるメンバーがいる場合は、代わりに若い人を推薦してもらうなど、活動メンバーをギリギリで維持していくというような状況です。最近は、お年寄りの方でも 70 代過ぎてもお仕事をされる方が多くて、なかなかボランティア事業に参加してくれる方が少ないというのが現状です。

また、先ほど触れました町内会だよりというものがありまして、これにもパトロール活動を掲載することによって、ボランティア事業のパトロール活動に積極的に参加してもらえるような啓発もしております。

ご清聴ありがとうございました。

最後になりましたが、今後も住みよいまちづくりのために、それぞれ無理なくボランティア活動を継続できるように努めたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

■講　評

【福岡大学 大上 渉 先生】

今年の３月に、ちょっと大村に足を運びまして、イチゴ狩りをしてました。非常に大村湾を中心とした風光明媚な場所で、町も本当に平穏な穏やかな町で、その背景には、この西大村地区防犯協会の普段の活動の取り組みがあるんだということがよく分かりました。

拝見していて思ったことは、青パトによる定期パトロール、この頻度が非常に多く、こまめに行われているというところに驚きというか、感心いたしました。

心理学で「社会的学習理論」というのがあるんですけれども、地域で行われている皆様の防犯活動というのは、それを見るお子さんの目には、正しい大人の姿、「規範的なモデル」として目に映るわけですね。そうした取り組みや様子を見て育った子というのは、やはり将来的に逸脱行動とか反社会的行動に向かいにくくなると思いますし、防犯活動といったものにも関心を持つようになるんじゃないかなというふうに思いました。

それから、防犯灯のLED化や防犯カメラの設置ですね。非常にベーシックな取り組みと思われがちなんですけれども、これは犯罪者が嫌う四つの要素「目・光・時間・音」、このうちの「光」や「目」、こういったものを高める本当に重要な取り組みだと思います。

町内会と連動しまして、定期的な防犯に関する講話の実施とか、セミナーみたいなものを開催されているというお話でしたけれども、こうした地域の人々に向けた積極的な情報発信とか対話というのは、防犯活動と地域のコミュニティが、とてもうまく溶け合っているからできることなんだろうなというふうに思いました。これからもこの活動が持続されることを祈念しております。以上になります。

■ 質疑応答

【質問者①】

どこもですね、やはり高齢化、それから成り手不足、これはどこも一緒だと思うんです。今、町内会やPTAでやっているけど、なかなか集まらないというのが現状だと思うんですけども、大村の方は、そのボランティアの方で定年制とか、そういうことを設けているんでしょうか。その点をお伺いしたいんですけども。

【発表者（百田氏）】

定年制は設けておりません。現在、一番高齢の方は88歳になっております。

【質問者】

はい、ありがとうございました。

【質問者②】

すいません、ちょっとお尋ねしたいんですけども、大村の方が88歳までと言っていたんですけども、青パトに乗務する時、後期高齢者は事故が多いと思うんですけども、実際何歳ぐらいまで運転してるんですか。

【発表者（百田氏）】

88歳の方は、助手席に乗るだけなんですけどね。実際に運転する年齢で言えば80歳ぐらいまでですね。

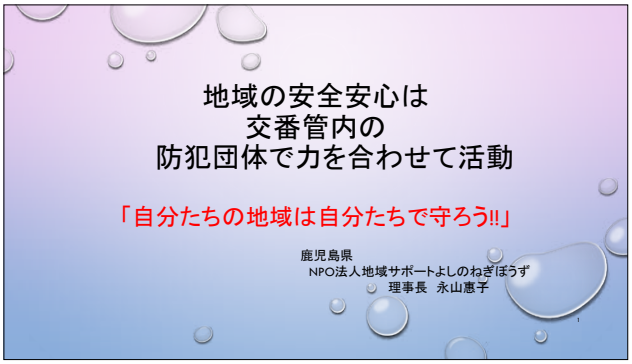
【質問者】

そうなんですね。一応、うちの会としては後期高齢者は事故が多くて危ないので、助手席は75歳超えても乗ってもいいけど、運転は絶対ダメだよとか、また一人で絶対乗車しないで二人で乗車して、と取り決めがあるんでね。そういうのちょっと考えた方がいいんじゃないかなと思います。以上です。

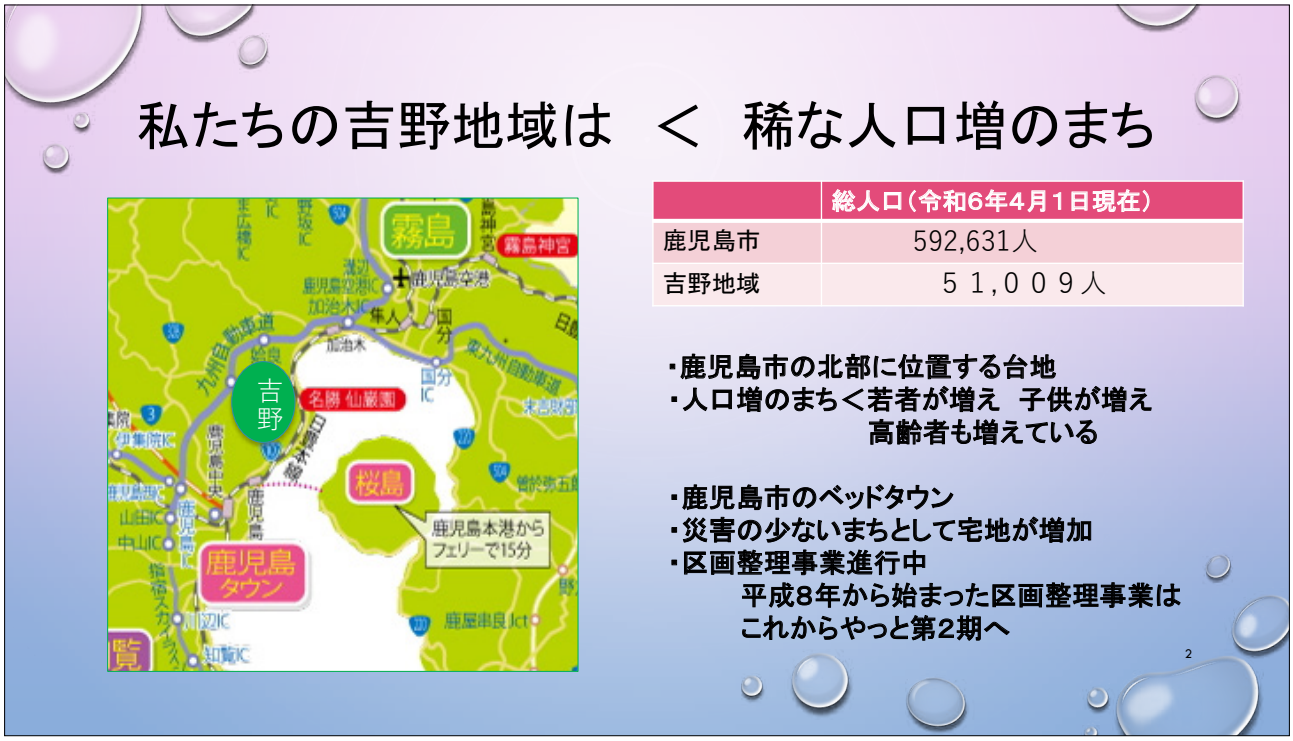
【発表者（百田氏）】

ありがとうございます。

よしのねぎぼうず（鹿児島県）

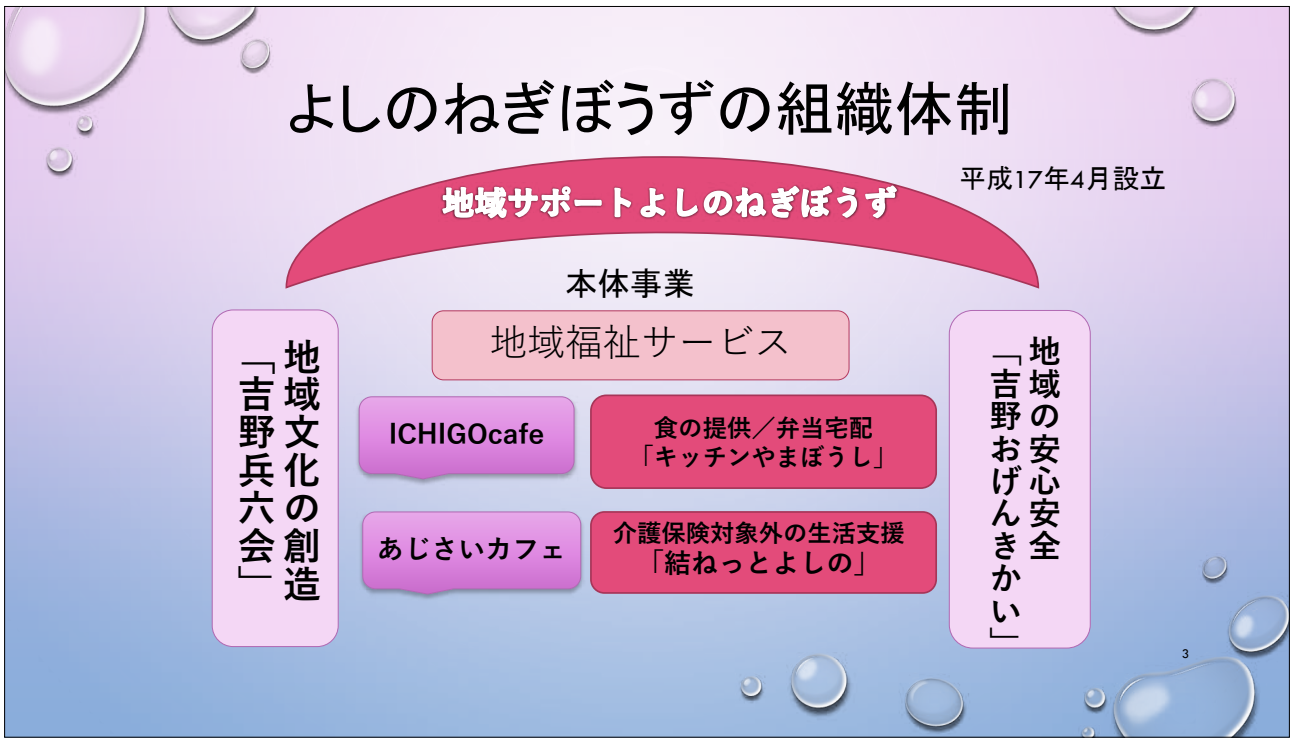


皆さん、こんにちは。鹿児島から参りました、NPO 法人地域サポートよしのねぎぼうずの理事長を務めております、永山と申します。およそ 20 分程度、よろしくお付き合いくださいませ。



私の住んでいる吉野地域というところは、この地図にございますが、真ん中の方に桜島、鹿児島のシンボル桜島の見える吉野台地という、高さが標高だいたい 200 から 400 メートルぐらいある高台にあります。鹿児島市のベッドタウンでもある地域で、過去に鹿児島で 8.6 水害があったんですけれども、災害があった後、災害の少ない町として、若い人たちがだいぶ家を建てるようになりました。どんどん人口も増えてまいりまして、今、盛んに少子高齢化ということを言っていますが、私たちの町は「多子高齢化」、高齢化も確かに進んではおりますが、若者が増え、子どもが増え、そして高齢者も増えているというところです。

私がこの吉野に引っ越してきた頃は、約 4 万人ぐらいしか人口がなかったと思うんですけれども、今は 5 万人を超えました。ただし、鹿児島市の人口は 60 万と言っていたんですけれども、だんだん市の人口は減っています。区画整理事業が平成 8 年から始まったんですけれども、なかなか難航しておりまして、やっとこれから第二期に入るというような状況でございます。



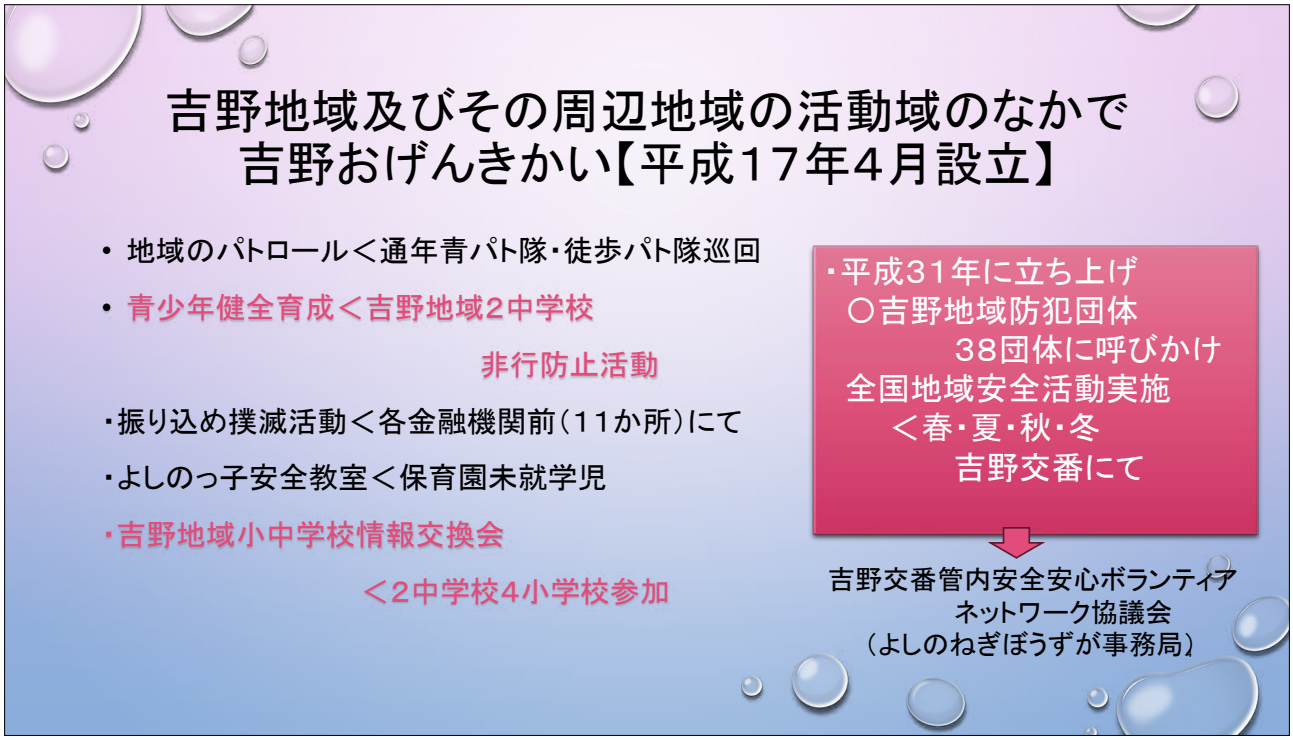
私ども NPO 法人なんですが、「NPO 法人地域サポートよしのねぎぼうず」として、平成 17 年に立ち上げました。地域福祉サービスを本体事業として、高齢者等に対してのお弁当の宅配や、介護保険対象外の生活支援などもやっております。また、みんなが集いやすいような「ICHIGO cafe」、そしてこの「あじさいカフェ」と書いてありますが、これは鹿児島市の一つの事業でして、コロナ禍で心に不安や悩みを抱えている女性を対象に、ゆっくり交流できる場を「あじさいカフェ」として設け、月に 1、2 回開催しております。実は今日も、私どもの「ICHIGO cafe」の方でこの「あじさいカフェ」が行われておりまして、だいたい 8 名から 10 名程度の方が来ておりました。同じカフェの中にキッチンがありますので、お料理を作りながら、そして食べながら、「ながらクッキング」と題して開催をしております。もう 3、4 年目になるんですけれども、だいぶ皆さん馴染みのある方々が増えてこられ、心のモヤモヤが晴れ晴れとした状況で帰っていかれることがとってもありがたいのかなと思っています。

そして、平成 17 年 4 月に NPO 法人を立ち上げたんですが、一番最初に立ち上げたのが「吉野おげんきかい」、地域の安心安全でございました。私は、この活動を始める前、地域の情報誌、ミニコミ誌を 10 年間作っておりました。その中で課題が見えてきて、その課題を解決したいなというところで、私は人が好き、そして人と人をつなぐことをやりたいということで、この NPO 法人を立ち上げたんですけれども、立ち上げの準備をしている頃、地域安全モニターや少年補導員という職務も受けておりましたので、中央警察署の生活安全課の方とも電話でお話しすることがあり、「永山さん、吉野には空き巣が多いのよね。どげんかならないかな」っておっしゃったの。いや、私にそんなこと言われても、とは思ったんですけれども、やはりこれはこの NPO の活動の中に安心安全の部門も立ち上げていかないといけないんだと思い、「吉野おげんきかい」を立ち上げる準備をいたしました。

この「おげんきかい」も、すぐに皆さんが「その指とまれ」で集まってくださるかなと思いましたが、なかなかそうはいきません。パトロールするときに、事故にあったらどうするんだとか、

名前はどうするんだ、活動資金はどうするんだとか、いろいろ課題がございましたので、半年ほど話し合いをして、「吉野おげんきかい」を設立をいたしました。

あとは、地域文化の創造ということで、吉野には何にも文化で一つに地域がまとまっていくというものがなかったので、「吉野兵六会」というのを立ち上げをいたしました。…この話をすると、とっても長くなります。今日は防犯の活動ですので、「吉野おげんきかい」の活動を、これから発表したいと思います。



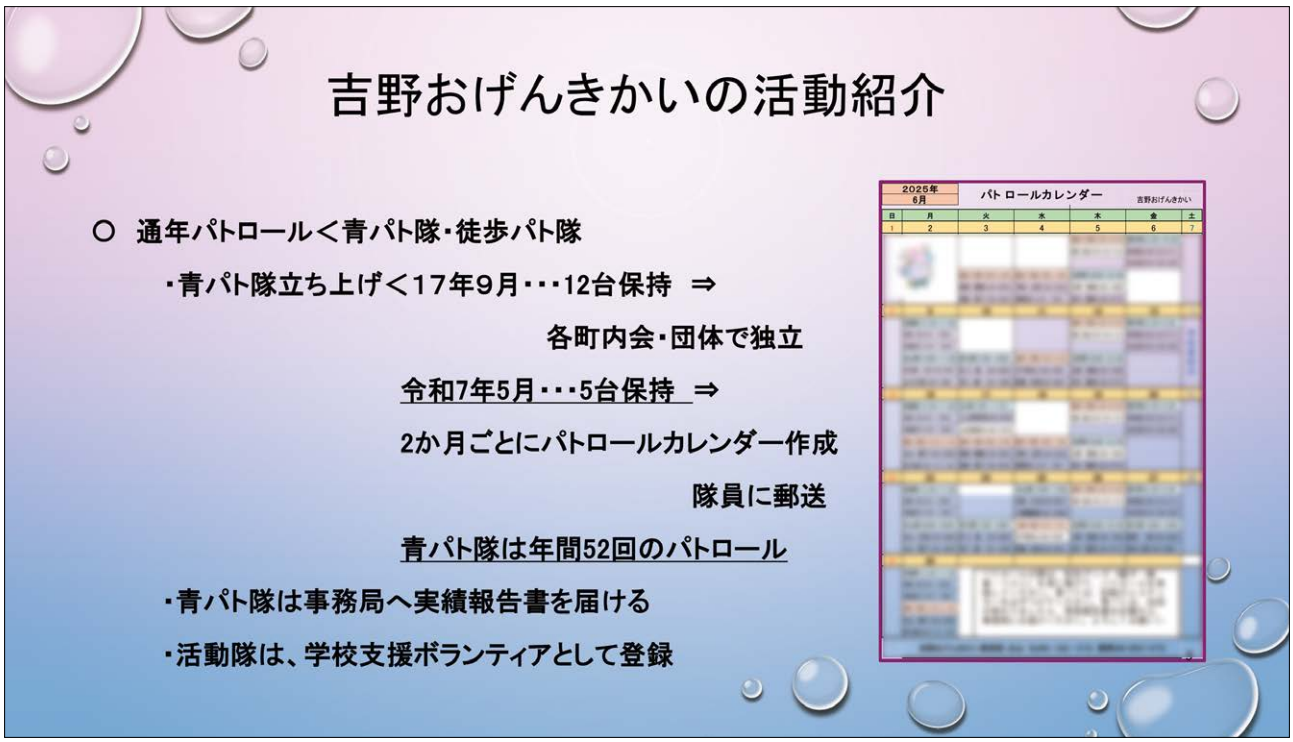
NPO 立ち上げと同時に、この「吉野おげんきかい」を立ち上げたんですけれども、先ほどの西大村地区さんたちもそうなんですが、全国的にこういう自主防犯パトロールが立ち上がる時だったと思います。その時に私ども NPO も立ち上げ、最初は徒歩パト隊で立ち上げました。半年ぐらい活動しておりますと、中央署の方が「こういう防犯パトロールの青パト隊というのがあるんだけど、青パト隊を立ち上げませんか」というお話をいただいて、青パト隊を立ち上げました。のちほど出てきますが、パトロール表を作って皆さんに配り、それに準じてパトロールをしていただいているところです。

あと、青少年育成活動です。これも後でまたお話をしたいと思います。

それから、振り込め詐欺撲滅活動。これも「吉野おげんきかい」の活動として、吉野には金融機関が約 11 カ所あるんですけれども、その 11 カ所をですね、年に 2 回、6 月と 12 月に金融機関の前で、撲滅活動ということでチラシを配ったりしてやっております。

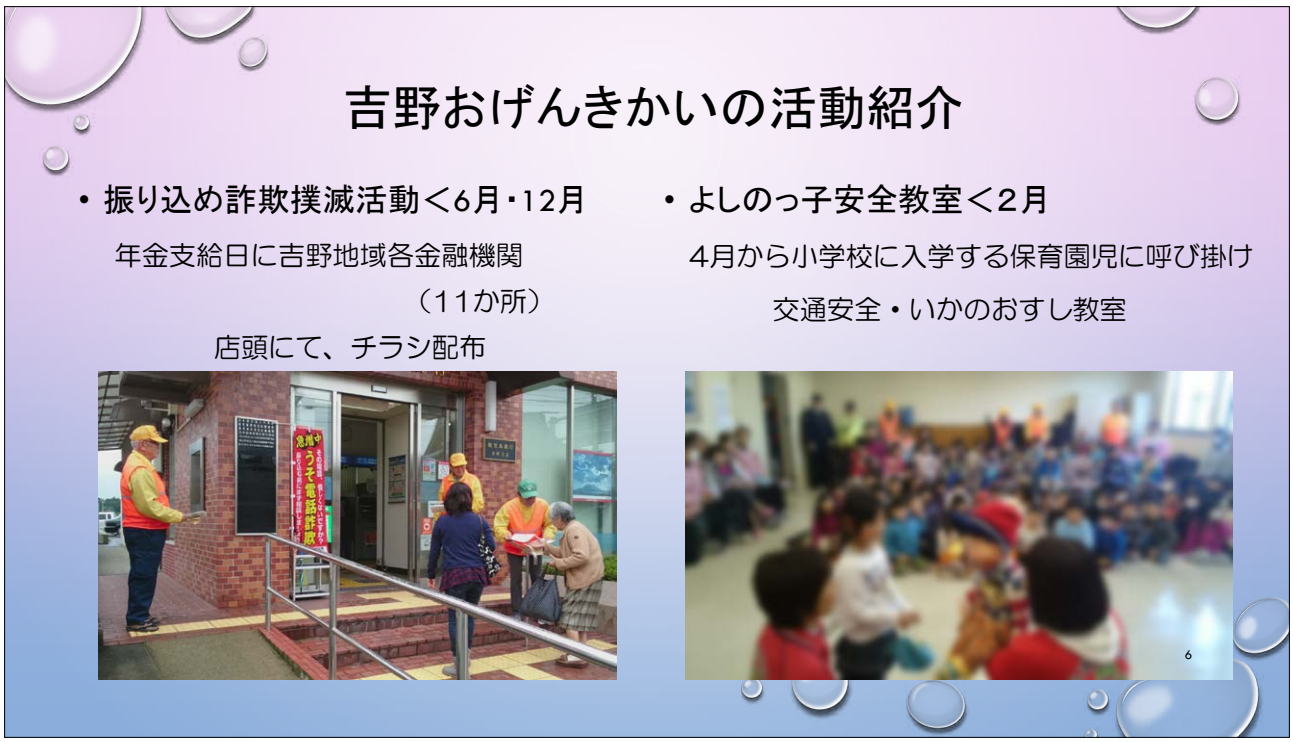
そして、保育園の未就学児、小学校に上がる子どもたちですね、その子どもたちに「よしのっ子安全教室」として、地域として、子どもたちに「いかのおすし」（不審者対策）と交通安全対策を行っております。

あともう一つは、吉野地域は先ほど子どもたちが多いと言いましたが、小中学校の情報交換会というのもずっと継続してやっております。



では、これから中身をちょっと紹介していきたいと思うんですが、パトロールの方ですね。青パト隊、徒歩パト隊、立ち上げて 21 年目になりました。最初は 12 台ぐらい青パトがいたんですけれども、それぞれ各町内会や団体で独立をされていきました。で、今は 5 台を確保していて、吉野地域全体を活動域としておりますので、巡回もその地域になります。この吉野地域全体というのが、イコール吉野交番管内につながっているということです。

青パト隊の方は、鹿児島市がガソリン代を補助してくれますので、年間 52 回パトロールをするというのが一応原則になっております。だから毎週パトロールをしないといけないということになるのかなと思います。青パト隊は事務局へ実績報告書をちゃんと届けること、そしてこの活動隊は学校支援ボランティアとしても登録をされております。



先ほど言いました振り込め詐欺の撲滅活動も、6 月と 12 月、各金融機関の前でこのようにして、隊員が分かれて行っております。中央署の方にも 300 部ほど、チラシやら粗品やらをいただけませんかという形でお願いをしているんですが、その 300 部も 11 機関に分けると、だいたい一金融機関あたり 25 から 30 しかないという、あっという間に配り終えてしまう、そんな感じでもあります。

あと、「よしのっ子安全教室」ですね。4 月から小学校に入学する保育園児に呼びかけをして、今は交通安全教室と「いかのおすし」教室をやっています。約三つの保育園が参加をしてくれまして、およそ 70 名から 100 名ぐらいになることもあるんですが、そのような形で、交通安全協会の方に来ていただいたり、「いかのおすし」教室の方は警察官の方に来ていただいて、開催をしております。

吉野交番管内安全安心
ボランティアネットワーク協議会の活動紹介

〇吉野地域安全活動出発式

- 吉野全体の38の防犯団体に呼び掛け
- 中央署の天文館･地域安全対策官にも参加依頼
- 吉野交番所長にも管内の現況を報告
- 毎回60名あまりの各隊員が参加

パトロール隊員の士気を促すために
現況の共有の場として開催

7

あと、先ほど「吉野おげんきかい」で吉野全体の巡回をしておりますので、いろんなことに気がついて、吉野の防犯団体にも声をかけて、いろんな活動をしていたんですけれども、「なんで吉野おげんきかいはみんなと同じ自主防犯組織なのに、吉野おげんきかいがリードしてやってるんだ」というような、ちょっと足の引っ張り合いがありました。要するに、交番管内の防犯団体全部に声をかけて、その中から会長さんを選んで、事務局をねぎぼうずがやるよっていうような形で統制を取り、内容を進めております。

新たに集めましたら、PTA 含め 38 団体ございました。そこに呼びかけし、必ず年 4 回、春夏秋冬に地域安全運動の時に交番に集まり、中央署の地域安全対策官という方にも来ていただき、中央署の状況と、交番管内の方は交番署長さんに状況をお話をしていただいています。毎回 60 名あまり参加をいただいているんですが、私、必ず出席をとります。いろんな団体が出席すると、なぜか最終的には 110 名から 120 名ぐらいの参加になるんですね。要するに、兼任していらっしゃる方たちがいっぱいいらっしゃるということなんです。だから、地域がそういう意味では総合的にサポートしていくっていうのが必要なのかなと思っています。

本当に何もない中でパトロールをやるということは、とっても辛いですよね。皆さんが「何にもないからパトロールは、しないほうがいいんじゃないか」という気持ちになってしまうと大変ですので、みんな集まっていろんな状況を聞くことで、「パトロールをやるんだ」と意識を高めるという意味で、とってもこの年 4 回の集まりは大切なのかなと思っています。

これもですね、私どもの「吉野おげんきかい」でやっていたんですけれども、吉野には二つの中学校がございます。私もいろんな役をしてまして、一つの中学校で授業参観の機会があり、ちょうど中学校が荒れていた時に授業参観をしていると、机の上に何も載ってない子、寝そべっている子、しゃべっている子、もう本当に「え、これが中学校の授業風景なの？」という時期がございました。正直、私はもうPTAなんかも卒業しておりますので、「一体PTAは何をしてるの」、「PTAがしっかりしないと」と言いたくなるものがあったんですが、じゃあ私たち地域人として何ができるんだろうということを真剣に思いました。この時にもう時間はなかったんですが、地域の防犯団体に声をかけて、「私たち地域の防犯団体は、あなたたち子どもたちを、こんなに見守っているんですよ」という姿を見せることが大切なんではないのかなということで、夏休み前の一学期の終業式の時に、中学校にみんなで乗り込みました。一番そこの、表紙にも書いてありますが、のぼり旗を持って、みんなの前に並びます。そして、中央署の方から「今、子どもたちに訴えたいことは何ですか」ということでチラシをいただいて、A5の裏表にそのような内容を私の方でまとめまして、それを子どもたち一人一人に配りました。配っている状況が映っていますが、「必ず子どもの目を見て一枚ずつ配ってくださいね」ということで、実施いたしました。もちろん警察官の方にも来ていただいて一緒に配りました。これってすっごく意義があるんですよね。警察官が制服を着て、子どもたちに一人一人訴えているっていうのは、すごいアプローチがあったんです。夏休みが終わり、校長先生が「とってもいい活動をしていただいて、ありがとうございました。子どもたちのまなざし、真剣さがまた変わってきました」ということで、なんと平成23年ぐらいからですかね、そのまま今もずっと活動を継続をしているという現状でございます。

こういうのもおげんきかいでやっていたんですが、今は吉野全体の動きにして、二つの中学校がありますので、それぞれの近い学校に皆さん防犯団体で出かけてくださいねと、お声をかけ集まっているところです。非常に意義のある活動になり、とってもありがたかったのかなと思います。

吉野地域小中学校情報交換会

コロナで途絶えたけど・・・やっぱり必要だよね❤

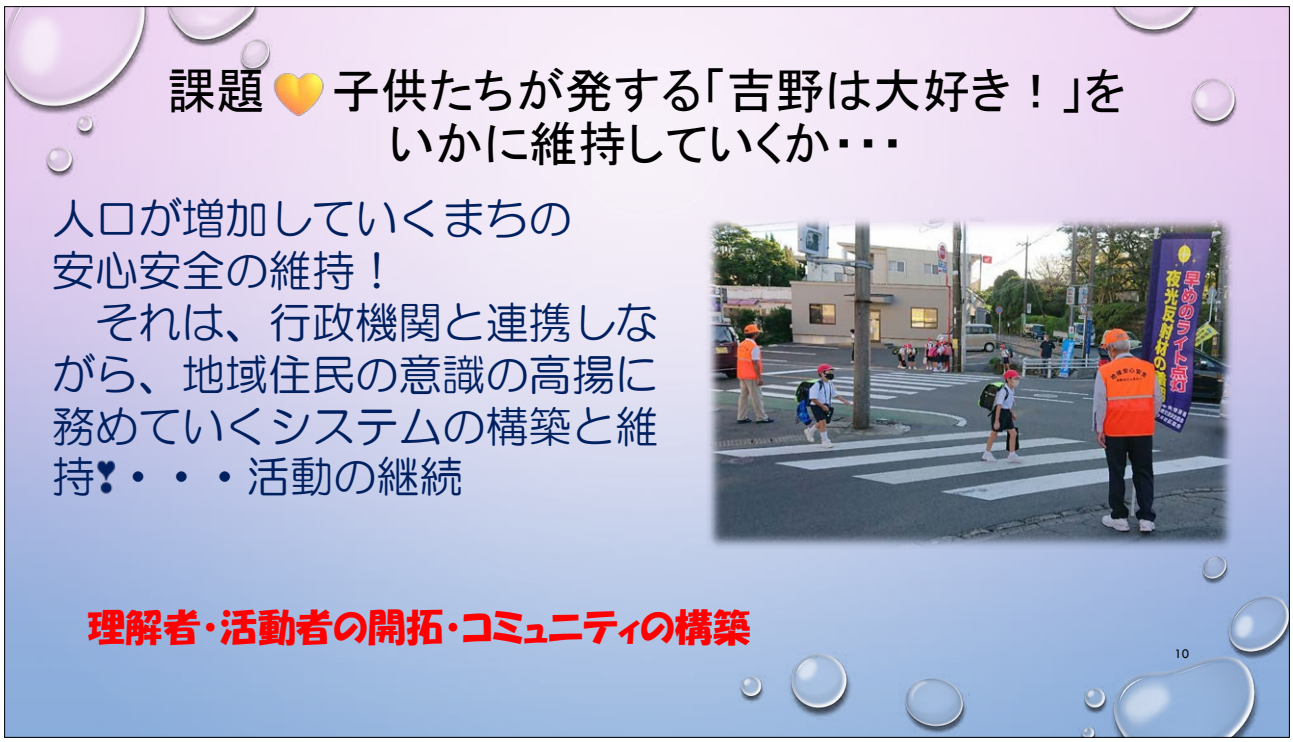
・立ち上げたころに・・・子供たちへ声掛けするのに、学校の様子を知りたい！
　研修会・懇親会を兼ねて平成18年から開催

・子供たちの自殺が多いとされる
　9月1日の前に開催

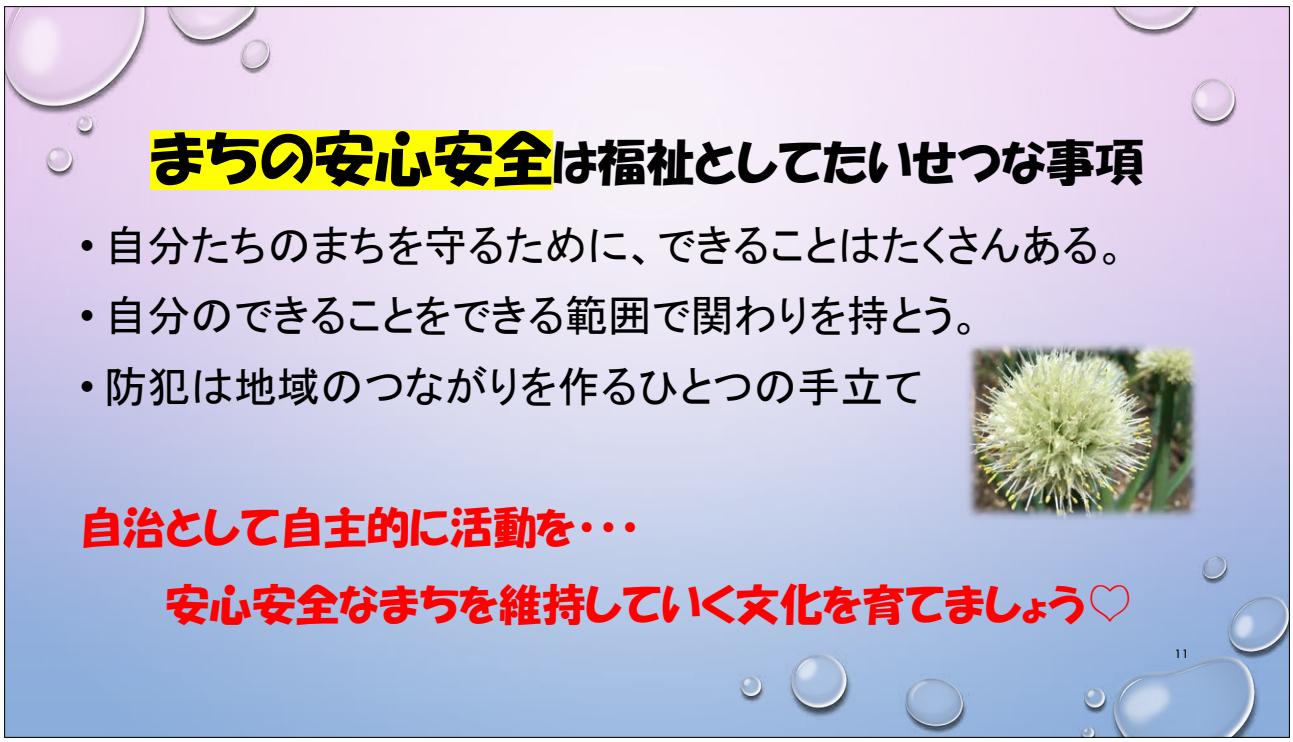
・2学期は子供たちが慣れる頃

学校（PTA）と地域との
連携の場に！

パトロールをしながら、「吉野おげんきかい」も三年間は学習をずっと重ねてきたんですけれども、パトロールをする上で、「子どもたちにどういう声かけをしたらいいの？」というのがあり、「小中学校の情報交換会」というのを行うようになりました。懇親会も兼ねて行っていましたが、コロナ禍にこの懇親会をやめなければいけないという時がありました。この情報交換会も中止していましたが、「やっぱり必要だよね」ということで一昨年から、また吉野公民館で、PTA 関係、学校関係、そして防犯団体に集まっていただいて、情報交換会を開催をしています。二学期の始まる前、要するに９月１日は子どもたちの自殺も多いというふうに言われますので、その前に集まり、情報交換会を開催をしています。



課題といたしましては、皆さんもおっしゃっていますように、私どもの団体も 21 年もしていますと、やっぱり高齢化してまいります。そういう意味では、辞めていく方たちも多いですが、できるだけ若い人たちに声をかけていくことがとても大切なのかなということと、あとはやっぱり行政機関と本当に連携して現状を把握していかないと、私たちもなよなよってなってしまうんですね。NPO、民間人として活動していくには、行政機関のサポート・支えがないとなかなかその動きがつながっていかないこともあります。またサポートいただくことで、非常に活動に拍車がかかると思います。理解者・活動者の開拓・コミュニティの構築がこれからも必要になるのかなと思います。



町の安心安全は福祉としてもとっても大切な事項です。

「福祉」というと、皆さん何だとお思いでしょうか。たった二つの言葉なんですけれども、私、もうだいぶ前なんですが、辞典を引いてみました。福祉とは一体何でしょう？

簡単なことなんですよね。「みんなが幸せになること」、たったこれだけが書いてあります。

みんなが幸せになるためには、町の安心安全っていうのは欠かせないんですね。町が安心安全であることが、やはり人が生きていく上でとっても大切だと思います。そういう意味で、今世界各国あちこちで戦争もあったりしますけれども、私たちが平和であって、平和で過ごせることがとっても大切だと思います。「自分たちのまちは自分たちで守ろうよ」ということを合言葉に、活動を続けていく。それには、そういう意識のある人たち、パトロールに賛同していただく人たちをたくさん育てていくことが、とっても大切なのかなと思います。

自分のできることをできる範囲で、関わりを持ちながらやっていただくために、定期的にそのつながりのある場を持つっていうことも大切なんだと思います。地域のつながりを作ることが、一つの地域が円滑に過ごせるための手立てになるというふうに思っています。

自治として、自分たちのまちは自分たちで守ろうよっていうのは、自分たち地域住民が自分たちのまちを治めているということにもつながりますので、安心安全なまちを維持していく文化、自分たちのまちを自分たちで守っていくんだよという、その心を育てていく文化を育てていくということの中で、私もこれからまた活動を続けていきたいと思います。

はい。私の話はこれで終わります。ありがとうございました。

講　評

【福岡大学 大上 渉 先生】

素晴らしいスライドと、永山さんのとても話術に長けたプレゼンテーションに舌を巻きました。どうもありがとうございます。

とてもユニークだなと思ったのは、地域福祉サービスがこの取り組みのまず根幹にあるっていうところですよね。それで、社会から忘れ去られ、接点がなくなったような人々とか、行き場をなくしたような若者たちに、カフェとかお弁当の宅配事業といったものを通じてケアしていくっていうところ、そういったところは、ちょっとほかの団体にはない、非常に独創的なアプローチだというふうに思いました。

それから、38の団体を束ねていらっしゃるってことで、まあ、いろんなご苦労もあるっていうような話をちょっと今伺いましたけれども、それの司令塔的な機能ということで、38団体が司令塔があるとはいえ、まとまっているというところに、吉野地区の地域の結束力みたいなものを感じます。

そしてもう一つ、面白いなと思ったのは、保育園児への安全教室ですね、「いかのおすし」のお話をするようなところから、中学生に対する非行防止、あるいは非行の啓発活動、こういったように、子どもの成長、この発達段階に応じて防犯教育が体系的になされているっていうのも、非常にユニークな取り組みかなというふうに思っています。

資料の方には書いてあったんですけれども、季節ごとにパトロールを行って、毎回100名以上の人が参加して特別な活動を行っているというのも、非常に興味深いなと思いまして、こういった行事が町の防犯に対する一体感を醸成するといったものにもつながるので、とても見事な取り組みじゃないかなというふうに思いました。

ということで、引き続き今後、この活動を継続なさってください。どうぞよろしくお願いいたします。